3-867-571-**03**(1)

ポータブルミニディスクレコーダー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MZ-R90
MZ-R91

主な特長

本機は、ソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクレコーダーです。

- **再生専用MDウォークマン並みの超小型ボディに、録音機能を凝縮**
  ポケットやバッグに入る携帯に便利なサイズ・軽さの、録音機能付きMDウォークマンです。
- **マグネシウムを上蓋部に採用した軽量ボディ**（MZ-R90）
- **ファッショナブルなデザイン&カラーの小型ボディ**（MZ-R91）
- **省電力設計によるロングバッテリーライフを実現**
- **MD編集ができる新開発の９文字対応、光る液晶リモコン**
  簡単操作のスマート・スティック・コントローラーリモコンで、曲名や、ディスク名を入力したり、曲順を変えるなどの編集操作が、簡単にできます。
- **録音しながら文字入力が出来る、「ながら入力機能」搭載**
  MDを録音中に、曲名やディスク名が入力できて便利です。
- **ネームバンク機能**
  曲名・ディスク名としてよく入力する言葉を、あらかじめ登録しておくことができます。
- **CDから曲名を記録できるジョイントテキスト機能**
  別売りのCDテキスト接続コードを使ってCDウォークマン（ジョイントテキスト対応機種）と接続し、録音と同時にCDテキストの情報を記録することができます（ジョイントテキスト対応機種、CDテキスト対応のCD使用時のみ）。
- **約40秒の長時間音飛びガードメモリー搭載**
- **高音質の録音**
  光デジタル入力端子からの録音によりノイズやひずみの少ない高音質の音楽を楽しめます。
- **デジタルシンクロ録音**
  光デジタル出力があるデジタル機器とつないで録音するとき、再生機側の操作に合わせて、録音開始や一時停止を自動で行います。
- **デジタルRECレベルコントロール機能を搭載**
- **モノラルモードでの長時間録音**
  最大160分まで録音ができます（80分ディスク使用時のみ）。
- **デート機能**
  録音した日時を自動的に記録します。
- **デジタルAGC搭載**
  デジタルならではの音のクオリティーを維持しながら、録音時のわずらわしいレベル設定を自動的に行います。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

この取扱説明書はMZ-R90、MZ-R91の2機種に共通です。

💡 は知っていると便利な情報のマークです。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターや充電器のプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電器などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜く

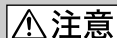
❷ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

目次

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

指定以外の充電器やACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電器をさわらない

感電の原因となることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド
(Ni-Cd)
ニッケル水素
(Ni-MH)
リチウムイオン
(Li-ion)

乾電池
アルカリ
マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険
（この項目は充電式電池のみ適用となります）

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- リチウムイオン電池は火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

⚠警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

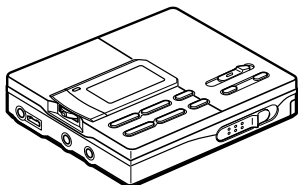
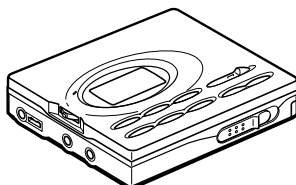
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い
使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

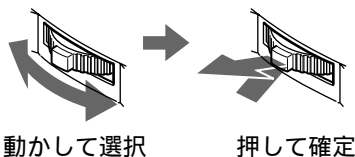
お使いになる前に

この取扱説明書はMZ-R90、MZ-R91の2機種に共通です

取扱説明書中のイラストはMZ-R90を使用していますが、操作方法や使用するボタンなどは2機種に共通しています。仕様の違いなどについて詳しくは、「主な仕様」（50ページ）をご覧ください。

MZ-R90

MZ-R91

ジョグレバーの使いかた

本機では、ジョグレバーを使って停止時、録音時、再生時、編集時に様々な操作をすることができます。ジョグレバーを動かして、本体の表示窓に表示される項目を選択し、押して選択した項目を確定します。

動かして選択　　押して確定

本機の🎧/LINE OUTジャックについて

🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定には「HeadPhone」と「LINE OUT」があります。別売りのヘッドホンを使うときは「HeadPhone」に設定し、お手持ちの機器などとつなぐときは「LINE OUT」に設定します。付属のヘッドホンを使うときは設定が自動的に「HeadPhone」になりますので設定する必要はありません。

🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定をするには、つぎの操作を行ってください。

1 ジョグレバーを押し、動かして「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度ジョグレバーを押す。
2 ジョグレバーを動かして「HeadPhone」または「LINE OUT」を点滅させる。
3 ジョグレバーを押す。

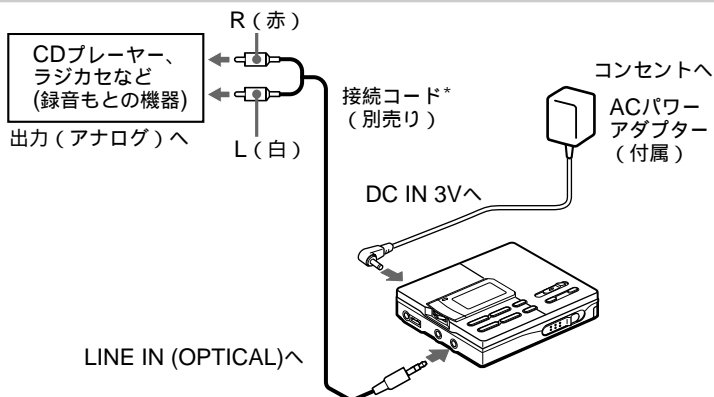
ご注意

- 🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が、「LINE OUT」になっていると、VOL+/–ボタンで音量を調節したり、デジタルメガベースを設定することができなくなります。この場合は設定を「HeadPhone」に直してください。
- 電源が切れると🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定は自動的に「HeadPhone」に変わります。

ここだけ読んでも使えます

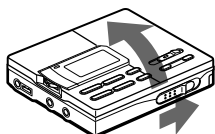
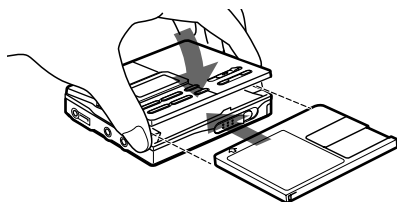
録音する

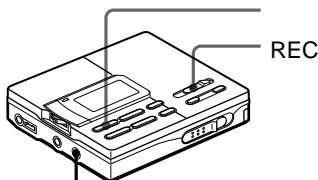
つないだ機器の出力端子から録音する音はアナログ信号で送られますが、ディスクにはデジタル方式で記録されます。また、録音はステレオ録音になります。
デジタル機器につないで録音するときは、「デジタル入力で録音する」（16ページ）をご覧ください。MDからMDへの録音については「デジタル録音の制限について」（53ページ）をご覧ください。

1 つなぐ（コード類をつなぐときは、奥までしっかりと差し込んでください。）

① **別売りの接続コードRK-G129*などを使ってつなぐ。**
ポータブルCDプレーヤーなどのステレオミニジャックにつなぐときは、別売りの接続コードRK-G136*をお使いください。

② **ACパワーアダプター（付属）をつなぐ。**
コンセントへつなぎます。

* 接続コードには抵抗の入っていないものをお使いください。

2 録音用ミニディスクを入れる

① **OPENスイッチを右にずらす。**
ふたが開きます。

② **ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

3 録音する

① **RECスイッチを右にずらす。**
「REC」表示が点灯し、録音が始まります。

止めるには、■ボタンを押す。
■ボタンを押してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約5分後に、自動的に電源が切れます。

ご注意

- 「Data Save」「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報（曲の開始・終了位置など）を ディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。
- 録音終了後、「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。

② **録音したいCDやテープを再生する。**

こんなときは	操作
録音済み部分の後ろに新しい録音をする	END SEARCHを押し、RECスイッチを右にずらす。
録音した内容の途中から新しく録音する	►、►►I または I◄◄ を押して録音を始めたい位置を探し、■を押す。次に、RECスイッチを右にずらす。
一時停止する	▮▮ を押す。[1] もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■ を押してから、本体のOPENスイッチを右にずらしてふたを開ける。[2]（「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。）

[1] 一時停止を解除したところで曲番（頭出しマーク）が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

[2] ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります。

録音が始められないときは

- ホールド（誤動作防止状態）になっていませんか（28ページ）。
- ディスクの誤消去防止つまみが開いていませんか（53ページ）。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

ご注意

録音中や編集中、また、その後■ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまでに電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。

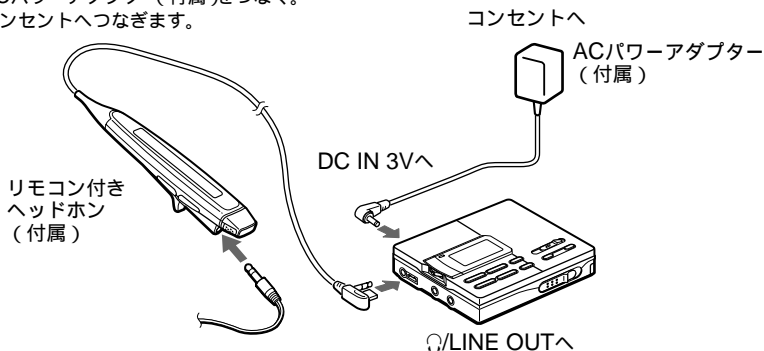
- 録音される音の大きさは自動的に調節されます。音の大きさを変えたいときは、「手動で録音レベルを調節する」（19ページ）をご覧ください。
- 録音中に音を聞くことができます。
 ☊/LINE OUTジャックにリモコン付きヘッドホン（付属）をつなぎます。聞こえる音の大きさはVOL＋/－ボタンで調節できます。ただし、録音される音の大きさは影響されません。

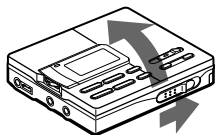
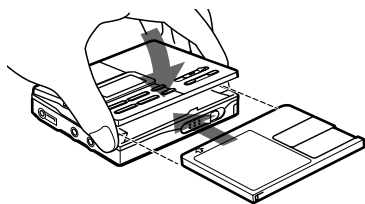
ここだけ読んでも使えます

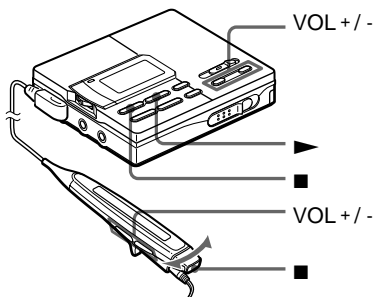
再生する

充電式電池、乾電池でも使えます。「電源について」（40ページ）をご覧ください。

1 つなぐ（コード類をつなぐときは奥までしっかりと差し込んでください。）

① AC**パワーアダプター（付属）をつなぐ。**
コンセントへつなぎます。

② **リモコン付きヘッドホン（付属）をつなぐ**
/LINE OUTジャックへつなぎます。

2 ミニディスクを入れる

① OPEN**スイッチを右にずらす。**
ふたが開きます。

② **ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

3 聞く

① **►を押す(リモコンではつまみを►・►►I側に押す)。**
リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。

② VOL＋/−**を押して音量を調節する。**
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、■ボタンを押す。
リモコンで操作すると「ピー」と確認音がします。
次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。
■ボタンを押してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約5分後に、自動的に電源が切れます。

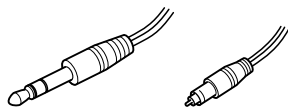
こんなときは	操作（リモコンの確認音）
今聞いている曲を頭出しする	I◄◄ を短く押す。リモコンではつまみをI◄◄側に押す。（ピピ）
次の曲を頭出しする	►►I を短く押す。リモコンではつまみを►・►►I側に押す。（ピピ）
再生しながら早戻しする[1]	I◄◄を押したままにする。 リモコンではつまみをI◄◄側に押したままにする。
再生しながら早送りする[1]	►►I を押したままにする。 リモコンではつまみを►・►►I側に押したままにする。
一時停止する	II を押す。（ピ・ピ・ピ）　もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENスイッチを右にずらしてふたを開ける。[2]

[1] 一時停止（II）してI◄◄または►►Iを（リモコンではつまみをI◄◄または►・►►I側に）押したままにすると、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。

[2] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは
ホールド（誤操作防止状態）になっていませんか（28ページ）。

別売りのヘッドホンを使う場合は

- ステレオミニプラグのものをお使いください。アラカルトヘッドホン（マイクロプラグ）は使えません。

ステレオミニプラグ　　マイクロプラグ

- VOL +/– ボタンで音量の調節ができなくなったり、ジョグレバーでデジタルメガベースの選択ができなくなることがあります。音量の調節や、デジタルメガベースの選択をできるようにするには次の操作を行ってください。
  1 ジョグレバーを押し、動かして「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度押す。
  「LINE OUT」が点滅します。
  2 ジョグレバーを動かして「HeadPhone」を点滅させる。
  3 ジョグレバーを押す。

録音された方法により、ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります。

ご注意

- ジョギング中など、連続的な振動が加わる状況で使用すると、再生中に音飛びすることがあります。
- 動作中に電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたが開かないことがあります。

録音もとの機器との2種類のつなぎかた

(光デジタル入力とアナログ入力)

本機をCDプレーヤーやラジカセなど録音もとの機器とつなぐには、光デジタル入力を使うつなぎかたとアナログ入力(LINE IN)を使うつなぎかたの2つの方法があります。それぞれの録音のしかたは、光デジタル入力を使うときは「デジタル入力で録音する」(16ページ)、アナログ入力 (LINE IN) を使うときは「録音する」(10ページ) をご覧ください。

光デジタル入力とアナログ入力の比較

相違点＼入力の種類		光デジタル入力	アナログ入力 (LINE IN)
つなぐことができる機器		光デジタル出力ジャックのある機器	出力 (LINE OUT) ジャックのある機器
使用するコード		光デジタルケーブル (録音もとの機器に角形プラグまたはミニプラグをつなぐ) (16ページ)	接続コード (録音もとの機器にピンプラグまたはステレオミニプラグをつなぐ) (10ページ)
録音もとから送られる信号		デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もととしても、本機にはアナログ信号として送られる。
録音の結果	マーク (曲番)	• 録音もとと同じ場所に自動的につく。 • 2秒以上の無音や小さな音が続いた場所につく*。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください (「頭出しマーク(曲番)を消す」32ページ)。	• 2秒以上の無音や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください (「頭出しマーク(曲番)を消す」32ページ)。
	録音される音の大きさ	録音もとと同じ。 手動でも調節できます (デジタルRECレベルコントロール) (「手動で録音レベルを調節する」19ページ)。	自動調節される。 手動でも調節できます (「手動で録音レベルを調節する」19ページ)。

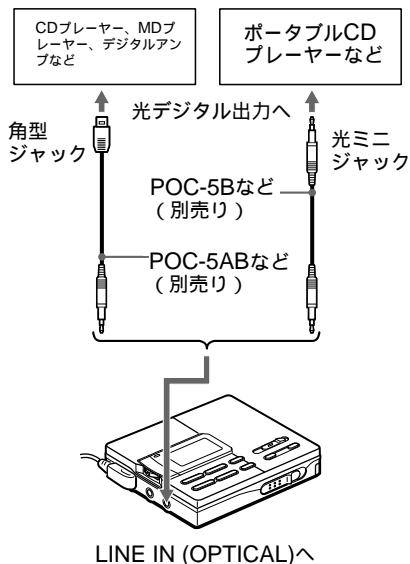
* 音源がCDやMDの場合は、無音部分に関係なく音源のCDやMDと同じ曲番が自動的につきます。

ご注意

次のような場合、録音もとと同じ場所に曲番が記録されないことがあります。

- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合 (このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。)
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

デジタル入力で録音する （光デジタルケーブルが必要）

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、光デジタル出力のあるDATデッキやBSチューナーなど、サンプリング周波数の違うデジタル機器と光デジタルケーブルでつなぐとデジタル録音できます。

本機のLINE IN (OPTICAL)ジャックはデジタル・アナログ両用です

つなぐケーブルの種類により、光デジタル入力またはアナログ入力（LINE IN）に自動的に切り換わります。

ご注意

- 光（オプティカル）タイプ以外のデジタル出力につなぐことはできません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  - ACパワーアダプター電源でないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。
  - ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  - 音飛びガード機能(ESPなど)は「切」にしてください。

録音用ミニディスクを入れ、録音を始める

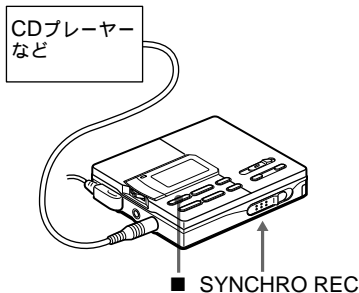
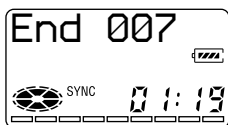
録音の操作は「録音する」（10ページ）を参照してください。

ポータブルCDプレーヤーから録音するときは、CDプレーヤーを一時停止にしてから録音の操作をしてください。

デジタル録音中は、音源のCDやMDと同じ曲番が自動的につきます。

再生側に合わせて録音を始める／止める

（シンクロ録音）

光デジタルケーブルを使ってつないだCDプレーヤーなどのデジタル機器から本機へデジタル録音するときに、録音もとと本機のそれぞれを操作する手間を省き、簡単に録音できます。また、録音もとの音源と、同じ曲番が自動的につきます。

1 SYNCHRO RECスイッチを「ON」にする。

「SYNC」が表示されます。
光デジタルケーブルが本機につながれていないと「SYNC」は表示されません。

2 RECスイッチを右にずらす。
録音一時停止になります。

3 録音もとの機器の再生を始める。
再生側の音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

録音をやめるには

本機の■ボタンを押します。

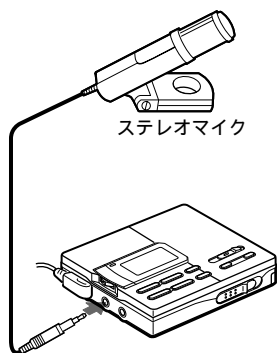
- シンクロ録音中は、手動で一時停止することはできません。
- シンクロ録音中に録音もとで3秒以上の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- 手順3の後では、SYNCHRO RECスイッチを切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- モノラル録音するときは、「長時間録音する」（18ページ）の手順1〜3を行ってからシンクロ録音の手順1と3を行ってください。
- シンクロ録音中に録音もとで無音状態が続いても、録音もとのノイズレベルが原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- シンクロ録音中に、録音もとの同一曲内で無音部分が2秒以上続くと、曲番が1つ増えてしまいます。
- MIC（PLUG IN POWER）ジャックを使用したり、光デジタルケーブル以外のケーブルを使用した場合は、シンクロ録音できません。
- シンクロ録音中は、手動で録音レベルを調節することはできません。

マイクで録音する

別売りのステレオマイクECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957などを本体につないで録音します。
入力は自動的にマイク入力に切り換わります。

MIC (PLUG IN POWER)へ

1 録音用ミニディスクを入れ、録音を始める。

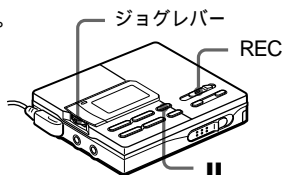
RECスイッチを右にずらします。その他の操作は「録音する」(10ページ)をご覧ください。

ご注意

- 光デジタルケーブルがLINE IN (OPTICAL)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。

長時間録音する

(モノラル録音)

一枚のディスクに通常の録音の倍の時間録音ができます。ただし音の臨場感は損なわれますので、目的に応じて選んでください。

1 IIボタンを押しながら、RECスイッチを右にずらす。

録音一時停止になります。

2 ジョグレバーを押し、動かして「REC MODE」を点滅させ、もう一度押す。

3 ジョグレバーを動かして、「MonoREC」を点滅させ、押す。

ステレオ録音に戻すときは、「Stereo REC」を点滅させて押します。

4 IIボタンを押して録音を始める。

5 録音する音を出す。

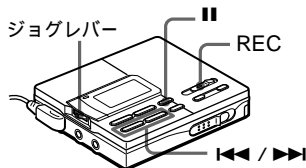
ご注意

- ■ボタンを押して録音を止めると、次の録音からはステレオ録音に戻ります。
- ステレオで送られる音をモノラルで録音すると、左右のチャンネルの音がミックスして録音されます。
- 光デジタル入力から録音する場合はシンクロ録音を「OFF」にしてから操作を始めてください。「ON」になっているとモノラル録音できません。
- 本機でモノラル録音した内容は、他のモノラル再生に対応していない機器では再生できません。
- 光デジタル入力で録音中の音は、🎧/LINE OUTジャックからステレオ音声で出力されます。

手動で録音レベルを調節する（マニュアル録音）

録音するときは、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。

ご注意

録音を始めると録音レベルは調節できなくなります。必ず録音を始める前に行ってください。

1 IIボタンを押しながら、RECスイッチを右にずらす。

録音一時停止になります。

2 ジョグレバーを押し、動かして「RecVolume」を点滅させ、もう一度押す。

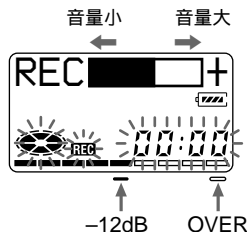
3 ジョグレバーを動かして、「ManualREC」を点滅させ、押す。

自動調節に戻すときは、ジョグレバーを動かし、「Auto REC」を点滅させて押します。

4 録音したい音を出す。

5 表示窓を見ながらジョグレバーを動かすか、I◀◀（－）／▶▶I（＋）ボタンを繰り返し押して録音レベルを調節する。

録音レベルは、レベル表示のバーが、表示窓の下にある ▬（–12dB）マーク付近で点灯するように調節します。

大きな音が入ったときに、レベル表示のバーが表示の窓の下にある ▭（OVER）マークのところまで点灯する場合は、録音レベルを下げてください。

6 IIボタンを押して録音を始める。

手順5では録音は始まっていません。他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

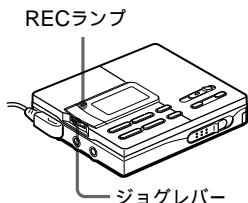
■ボタンを押して録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。

ご注意

- 録音中は手動で録音レベルの調節をすることはできません。録音レベルの調節をするときは、IIボタンを押して録音一時停止にしてから手順5、6を行ってください。
- シンクロ録音中は、手動で録音レベルを調節することはできません。

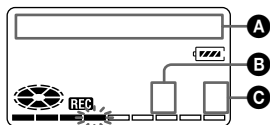
残り時間や録音位置を調べる

録音または停止中、表示窓で残り時間や曲番などの情報を確認できます。

本体で操作する

1 ジョグレバーを押し、動かして「DISPLAY」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグレバーを動かして確認したい情報を点滅させ、押す。

本体のジョグレバーを動かすたびに、表示は次のように変わります。

本体の表示窓

録音中

A	B[1]	C[2]
LapTime（経過時間）	1	3
RecRemain（録音できる残り時間）	2	3
Clock（現在時刻）	3	3

1) 表示される順

2) 表示される情報の数

停止中

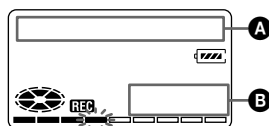
A	B[1]	C[2]
LapTime（経過時間）	1	4
RecRemain（録音できる残り時間）	2	4
AllRemain（再生できる全残り時間）	3	4
Clock（現在時刻）	4	4

1) 表示される順

2) 表示される情報の数

3 ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを押すと表示は次のように変わります。

本体の表示窓

録音中

A	B
曲番	経過時間
曲番	録音できる残り時間
年月日[1]	現在時刻[1]

1) 時計が合わせてあるときのみ表示されます。

停止中

A	B
曲番	経過時間
曲名[1]	録音できる残り時間
ディスク名[1]	再生できる全残り時間
年月日[2]	現在時刻[2]

1) 文字情報が記録されているときのみ表示されます。

2) 時計が合わせてあるときのみ表示されます。

リモコン表示は本体表示と異なります。リモコン表示についてはこのページの「リモコンで操作する」をご覧ください。

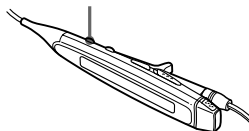
録音状態を確認する

RECランプが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

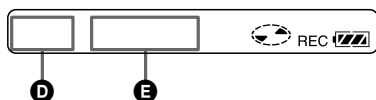
録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅（ボイスミラー）
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
頭出しマーク(曲番)が追加されたとき（本体のみ）	一瞬 消灯

リモコンで操作をしてもRECランプは同じように点灯または点滅します。

再生中の表示については、27、28ページの「残り時間や再生位置を調べる」をご覧ください。

リモコンで操作する

1 **DISPLAYボタンを押す。**

DISPLAYボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓

録音中

D	E
曲番	経過時間
曲番	録音できる残り時間
—	現在時刻[1]

1) 時計が合わせてあるときのみ表示されます。

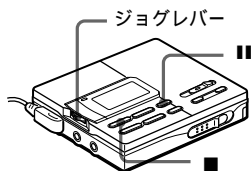
停止中

D	E
曲番	経過時間
曲番	曲名[1]
全曲数	ディスク名[1]
—	現在時刻[2]

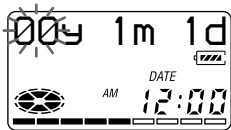
1) 文字情報が記録されているときのみ表示されます。
2) 時計が合わせてあるときのみ表示されます。

- 再生中の表示については、27、28ページの「残り時間や再生位置を調べる」をご覧ください。
- 本体表示はリモコン表示と異なります。本体表示については20ページの「本体で操作する」をご覧ください。

録音日時を記録する
（時計合わせ）

時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。録音日時は、一度時計を合わせると常に記録されるようになります。録音日時を記録しないときは、この操作は不要です。

1 電源をつなぐ。
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

2 停止中またはディスクが入っていない状態で、ジョグレバーを押す。

3 ジョグレバーを動かして「CLOCK SET」を点滅させ、押す。
西暦年の数字が点滅します。

4 ジョグレバーを動かして年を合わせ、押す。
月の数字が点滅します。

5 手順4をくりかえして月、日、時、分を合わせる。
分を合わせてジョグレバーを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは
■ボタンを押し、もう一度手順2からやり直してください。変更する必要のない数字はジョグレバーを押して先に進めてください。

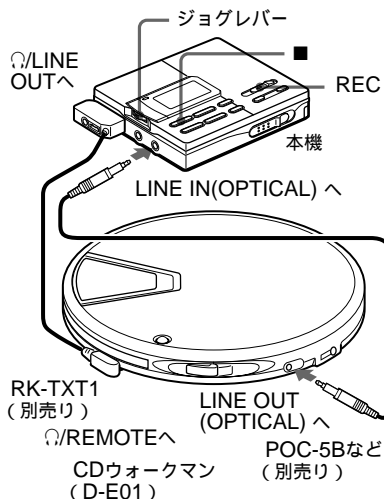
現在の日時を表示するには
停止中または録音中にジョグレバーを押し、動かして「DISPLAY」を点滅させ、もう一度ジョグレバーを押します。ジョグレバーを動かして「CLOCK」を点滅させ、押すと現在の日時が表示されます。

時計を24時間表示に変えるには
時計合わせ中にIIボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

本体内蔵の時計用電源を充電してください
初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵の時計用電源を充電してください。ACパワーアダプターを約2時間コンセントにつないだままにして充電します（その間も本機をお使いになれます）。その後は、コンセントや充電式電池、乾電池のいずれかの電源がつないであれば、自動的に充電されるのであらためて充電する必要はありません。電源がなくても、時計用電源は約１か月間持続します。

CDの曲名などを記録しながら録音する

（ジョイントテキスト機能）（CDテキスト接続ケーブル、CDテキスト対応CDとジョイントテキスト対応CDウォークマンが必要）

ジョイントテキスト機能対応のソニー製CDウォークマン（D-E01）から、CDテキスト対応のCDを光デジタル入力で録音するときに、本機とCDウォークマンをさらにCDテキスト接続ケーブルRK-TXT1（別売り）を使って下図のようにつなぐと、録音と同時にディスク名、曲名などの情報をMDに記録できます。

1 本機のRECスイッチの中央のボタンを押したまま右にずらして録音を始め、CDウォークマンの再生を始める。

「SYNC」、「REC」、「♫」が点灯し、「CD TEXT」と数秒間表示されたあと、「001（録音中の曲の曲番）TEXT?」と「PushENTER」が交互に表示されます。
録音中の曲に曲名情報がないときは、「NO TEXT」と表示され、その曲の曲名情報は記録されません。

2 ジョグレバーを押す。

曲名がスクロールして表示されたあと、曲名と「PushENTER」が交互に表示されます。

3 ジョグレバーを押す。

曲名がMDに記録され、スクロールして表示されます。

4 曲が変わるごとに、上記の手順2と3を繰り返して曲名を記録する。

5 録音を終えたいところで本機の■ボタンを押す。

「（ディスクマーク）」が点灯し、「000 TEXT?」と「PushENTER」が交互に表示されます。
ディスク名情報を記録したくない場合は、もう一度■ボタンを押すと、ディスク名を記録せずに終了します。
ディスク名情報がないときは、「NO TEXT」と表示され、終了します。

次ページへつづく

6 ジョグレバーを押す。

ディスク名がスクロールして表示されたあと、ディスク名と「PushENTER」が交互に表示されます。

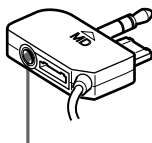
7 ジョグレバーを押す。

「TOC Edit」が点滅し、記録されたディスク名がスクロールして表示されます。

CDによっては、手順1でディスク名、曲名が自動的に表示され、そのままCDテキストの情報を記録しながらの録音が始まることがあります。その場合は録音が終ったら、または録音を終えたいところで本機の■ボタンを押します。「TOC Edit」が点滅し、その後記録されたディスク名がスクロールして表示されます。

ご注意

- すでに名前が付いているディスクにディスク名情報を記録すると、ディスク名は上書きされます。
- ジョイントテキスト機能（CDの曲名などの情報を記録しながら録音する機能）が働いているときは、ジョグレバーを使っての様々な機能の設定や編集操作ができなくなります。

録音中の音を聞くには、CDテキスト接続ケーブルRK-TXT1のMD録音モニター端子に、本機に付属のヘッドホンをつなぎ、本体のVOL +/– ボタンで音量を調節します。

ご注意

- ジョイントテキスト機能は次のマークが記載された機器（D-E01）にのみ対応しています。

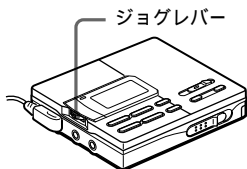
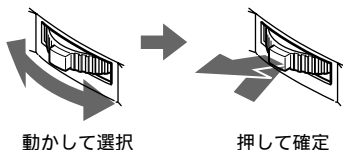
JOINT TEXT
CD→MD

- CDソフトは次のマークが記載された「CD TEXT」対応のもののみ有効です。

- CDテキスト接続ケーブルは専用のケーブル（RK-TXT1）を使用し、本機とD-E01以外にはつながないでください。
- 本機にCDテキスト接続ケーブルRK-TXT1をつないでいるときは、本機のリモコンからの操作はできません。
- 録音中にCDウォークマンを停止または再生一時停止にすると、本機は自動的に録音一時停止状態になります。録音を再開した場所には頭出しマーク（曲番）が自動的に付きます。
- 録音中の曲の曲名を記録する前にCDウォークマンを停止または再生一時停止にすると、その曲の曲名はMDに記録されません。

曲番や曲名を直接選ぶ

（ダイレクト選曲）

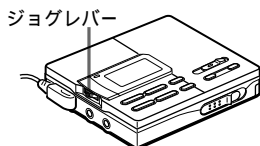
ジョグレバーを使って簡単に聞きたい曲を選ぶことができます。

1 ジョグレバーを動かし、聞きたい曲が表示されたらジョグレバーを押す。

ジョグレバーを動かすと本体の表示窓に曲名が表示され、押すと選んだ曲の再生が始まります。
曲名が付いていないときは曲番のみが表示されます。

シャッフル再生中に手順1を行うと、選んだ曲からシャッフル再生が始まります。

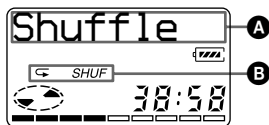
くりかえし聞く

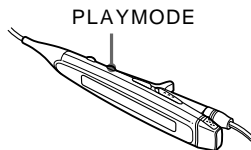
（リピート再生）

ディスク全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピートの3通りの方法があります。

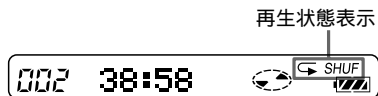
本体で操作する

1 再生中または停止中にジョグレバーを押し、動かして「PLAY MODE」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグレバーを動かして選択したい再生モードを点滅させ、押す。
ジョグレバーを動かすたびに、表示Ⓐが次の表のように変わります。表示Ⓐの点滅中にジョグレバーを押すと表示Ⓑが点灯し、選択された再生状態になります。

本体の表示窓

表示 Ⓐ/Ⓑ	再生状態
No Repeat/－	通常の再生
AllRepeat/⮎	ディスク全曲を繰り返し再生
1 Repeat/⮎ 1	再生中の曲を繰り返し再生
Shuffle/⮎ SHUF	選択されている曲の次から全曲を順不同に並べかえて再生し、さらに繰り返し並べかえて再生

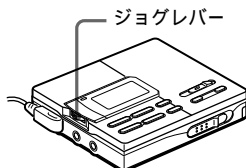
リモコンで操作する

1 **再生中または停止中に PLAYMODEボタンを押す。**
押すたびに表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓

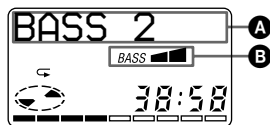
再生状態表示

表示	再生状態
—	通常の再生
⊆	ディスク全曲を繰り返し再生
⊆ 1	再生中の曲を繰り返し再生
⊆SHUF	選択されている曲の次から全曲を順不同に並べかえて再生し、さらに繰り返し並べかえて再生

低音を強調する

（デジタルメガベース）

低音域が強調された迫力のある再生が楽しめます。この機能は、本体に接続されたヘッドホンに対してのみ働きます。

1 **ジョグレバーを押し、動かして「MEGA BASS」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグレバーを動かして選択したいモードを点滅させ、押す。**
ジョグレバーを動かすたび、表示は次のように変わります。

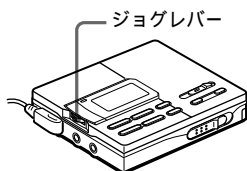
本体の表示窓

表示 A/B	再生状態
BASS 0/—	通常の再生
BASS 1/*BASS* ▬	メガベース（弱）
BASS 2/*BASS* ▬▬	メガベース（強）

ご注意

- メガベースを使っているときに音量を上げすぎると、音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合は音量を下げてください。
- ☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっていると、メガベースは働きません。このときにメガベースを設定しようとすると、「SORRY」と表示されます。ただし、付属のリモコンをつないでいる場合を除きます。
- 録音中にメガベースを切り換えても、録音される音には影響はありません。

音もれを抑える

（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

1 ジョグレバーを押し、動かして「AVLS」を点滅させ、もう一度押す。

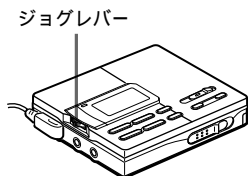
2 ジョグレバーを動かして「AVLS ON」を点滅させ、押す。

音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が表示され、それ以上音量が上がらなくなります。

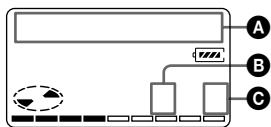
設定を戻すときは、「AVLS OFF」を点滅させて押します。

残り時間や再生位置を調べる

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。

本体で操作する

1 再生中にジョグレバーを押し、動かして「DISPLAY」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグレバーを動かして確認したい表示モードを点滅させ、押す。

ジョグレバーを動かすたびに、表示は次にように変わります。

本体の表示窓

Ⓐ	Ⓑ[1]	Ⓒ[2]
LapTime（経過時間）	1	4
1 Remain（1曲中の残り時間）	2	4
AllRemain（再生できる全残り時間）	3	4
RecDate（録音日時）	4	4

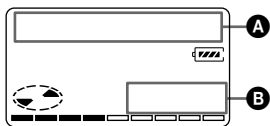
1) 表示される順

2) 表示される情報の数

次ページへつづく

3 ジョグレバーを押す。

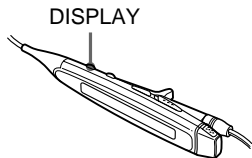
ジョグレバーを押すと表示は次のように変わります。

本体の表示窓

A	B
曲番	経過時間
曲名[1]	その曲の残り時間
ディスク名[1]	再生できる全残り時間
録音した年月日[2]	録音した時刻[2]

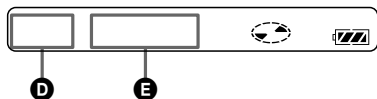
1) 文字情報が記録されているときのみ表示されます。

2) 時計が合わせてあるときのみ表示されます。

リモコン表示は本体表示と異なります。リモコン表示については、このページの「リモコンで操作する」をご覧ください。

リモコンで操作する

1 DISPLAYボタンを押す。

DISPLAYボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓

D	E
曲番	経過時間
曲番	曲名[1]
全曲数	ディスク名[1]
—	録音した時刻[2]

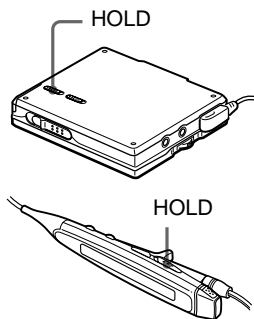
1) 文字情報が記録されているときのみ表示されます。

2) 時計が合わせてあるときのみ表示されます。

- 録音または停止中の表示については、20、21ページの「残り時間や録音位置を調べる」をご覧ください。
- 本体表示はリモコン表示と異なります。本体表示については27ページの「本体で操作する」をご覧ください。

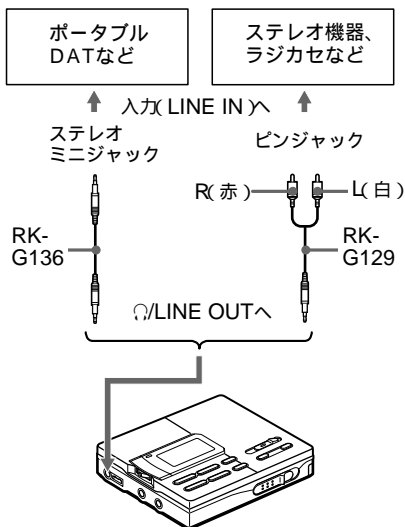
誤操作を防ぐ

（ホールド機能）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。

1 HOLDスイッチを━▶方向にずらす。

本体のHOLDスイッチは本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチはリモコンの操作ボタンが働かなくなります。逆方向にずらすと、解除されます。

お手持ちのシステムで聞く（LINE OUT）

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136を🎧/LINE OUTジャックにつなぎます。出力はアナログです。本機はデジタル方式で再生しますが、つないだ機器にはアナログ信号で送られます。

本機の🎧/LINE OUTジャックに別売りの接続コードをつないでから次の操作を行って、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定をする必要があります。

1 ジョグレバーを押し、動かして「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグレバーを動かして、「LINE OUT」を点滅させ、ジョグレバーを押す。

ご注意

- 🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっていると、ボリュームやメガベースは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINE OUT」にすることができません。
- 電源が切れると、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定は自動的に「HeadPhone」になります。

編集する前に

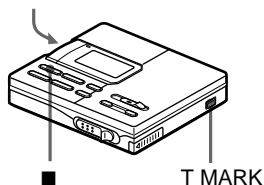
ミニディスクに頭出しマーク（曲番）をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。ただし、再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

ご注意

- 「TOC Edit」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜いたりしないでください。
- 誤消去防止つまみが開いているディスクでは、編集ができません。つまみをもとに戻してください。
- 再生中に編集を行った後は、停止させてから「TOC Edit」表示が数秒点滅して消えるまで、電源を抜いたりしないでください。
- 編集を行った後、「TOC Edit」表示が消えるまでは、ふたは開きません。

曲を消す

1曲を消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

1 消したい曲の再生中にジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
「♫：Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。

2 ジョグレバーを動かして「♫：Erase」を点滅させ、ジョグレバーを押す。
表示窓に「Erase OK?」と「PushENTER」が交互に表示されます。消すのを中止するときは、■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

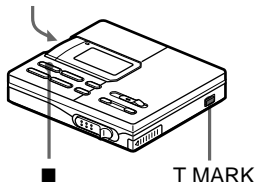
3 もう一度ジョグレバーを押す。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて（31ページ）、その部分を消してください。

全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。
一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認してから行ってください。

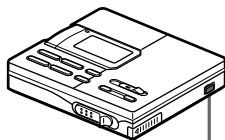
ジョグレバー

■　T MARK

1 **停止中に、ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。**
「⊖：Name」が点滅します。

2 **ジョグレバーを動かして、「⊖：Erase」を点滅させ、ジョグレバーを押す。**
表示窓に「AllErase?」と「PushENTER」が交互に表示されます。消すのを中止するときは、■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

3 **ジョグレバーをもう一度押す。**
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANKDISC」と表示されます。

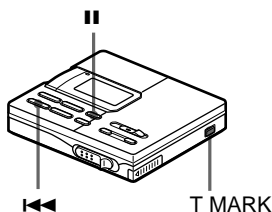
頭出しマーク(曲番)をつける

曲の途中に頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲番は次のようになります。

1 **再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKボタンを押す。**
「MARK ON」が表示され、曲番が１つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

録音中にマークをつけることもできます

録音（シンクロ録音を除く)中にマークをつけたい位置でT MARKボタンを押してください。

頭出しマーク（曲番）を消す

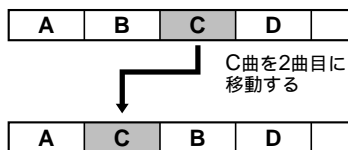
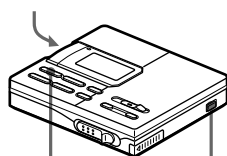
アナログ入力（LINE IN）やマイク入力で録音したときは、静かな音が続く部分などに不要な頭出しマークがつくことがあります。その場合は、頭出しマークを消すと、前後の曲を１つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。

1 **曲番を消したい曲を再生し、IIボタンを押して再生一時停止にする。**

2 **I◀◀ボタンを短く押して、曲の先頭（00:00）にする。**
例えば、２曲目と３曲目をつなぎたいときは、３曲目の先頭にします。
「MARK」が2秒間表示されます。

3 **T MARKボタンを押す。**
「MARK OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。

💡
録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

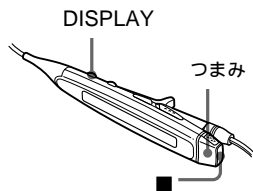
曲順を変える（ムーブ）

曲を移動して、曲順を変更できます。
例:C曲を2曲目に移動するとき

本体で操作する

1 **移動したい曲の再生中に、ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。**
「♫：Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。

2 **ジョグレバーを動かして「♫：Move」を点滅させ、押す。**
上記の例では表示窓に「MV003 → 003」と表示されます。

3 **ジョグレバーを動かして、移動先の曲番を指定する。**
上記の例では表示窓に「MV003 → 002」と表示されます。
途中で中止するときは■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

4 **ジョグレバーを押す。**
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。

リモコンで操作する

1 **移動したい曲の再生中に、DISPLAYボタンを2秒以上押したままにする。**
「♫：Name」が点滅し、1曲リピート再生になります。

2 **つまみを⏮または▶・⏭側に押して、表示窓に「♫：Move」を表示させる。**

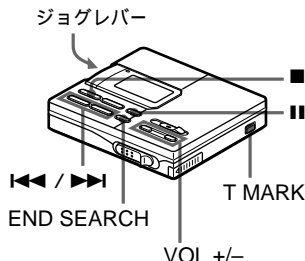
3 **■ボタンを押す。**
上記の例では表示窓に「003 → 003」と表示されます。

4 **つまみを⏮または▶・⏭側に押して、移動先の曲番を指定する。**
上記の例では表示窓に「003 → 002」と表示されます。
途中で中止するときはDISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。

5 **■ボタンを押す。**
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。

曲名やディスク名をつける

再生中は曲名、停止中はディスク名、録音中は曲名・ディスク名をつけることができます。曲名やディスク名は、それぞれ200文字までつけることができます。
1枚のディスクには、再生・停止中に英数字／記号で約1700文字、カナ文字のみで約800文字入力できます。

本体で操作する

停止中にディスク名を入力する

1 **ディスクを入れる。**

2 **ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。**
「💿：Name」が点滅します。

3 **ジョグレバーを押す。**
ディスク名の入力準備状態になります。

次ページへつづく

4 ジョグレバーを動かして文字を選び、押して確定する。

確定すると、選んだ文字が点灯に変わり、次の文字位置でカーソルが点滅します。

ジョグレバーの他に使えるボタンと機能は以下のとおりです。

ボタン	機能
❚❚	カナ→アルファベット→記号と数字→よく使う言葉[1]の順に切り替わる。
VOL ＋/–	文字カーソルを左右に移動する。
⏮／⏭	アルファベットや記号・数字入力時は⏭を押すと、1文字ずつ変わる。⏮を押すと戻る。カタカナ入力時に⏮／⏭ を2秒以上押すと「ア」⟷「カ」⟷「サ」⟷「タ」のように文字が選べる。
END SEARCH/ VOL　＋	同時に押して記入位置に空白を挿入し、一文字分の文字を追加できる。
END SEARCH/ VOL　–	同時に押して記入位置の文字を削除し、以降の文字を一文字ずつつめる。
■	タイトルをつけるのを中止する。
T MARK	タイトルをつけるのを中止する。

1) よく使う言葉が登録されていると（ネームバンク機能）、一番最初に登録された言葉が表示されます（37ページ）。

5 手順4を繰り返して名前をつける。

途中で中止するときは■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

6 ジョグレバーを2秒以上押したままにする。

曲名またはディスク名がつきます。

再生中に曲名を入力する

1 ディスクを入れて曲名をつけたい曲を再生する。

2 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

「♫：Name」が点滅します。

3 ジョグレバーを押す。

曲名の入力準備状態になります。

4 「停止中にディスク名を入力する」（このページ）の手順4から6と同様の操作をする。

録音中に曲名・ディスク名を入力する

1 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

「♫：Name」が点滅します。

2

- **曲名を入力するには ジョグレバーを押す。**
- **ディスク名を入力するには ジョグレバーを動かして「💿：Name」を点滅させ、押す。**

曲名またはディスク名の入力準備状態になります。

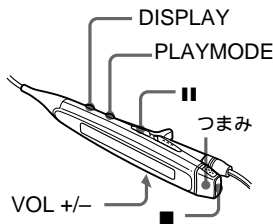
3 「停止中にディスク名を入力する」（このページ）の手順4から6と同様の操作をする。

途中でやめるときは

■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

ご注意

録音中に曲名・ディスク名を入力しているときに録音が終了したときや、曲名入力をしているときに次の曲が始まったときは、その時点の入力が自動的に確定します。

リモコンで操作する

停止中にディスク名を入力する

1 ディスクを入れる。

すでに入っているディスクのディスク名をつけるときは、■ボタンを押して停止します。

2 DISPLAYボタンを2秒以上押す。

「 ：Name」が点滅します。

3 ■ボタンを押す。

ディスク名の入力準備状態になります。

4 つまみを⏮または►・⏭側に押して、文字を選び、■ボタンを押して確定する。

確定すると、選んだ文字が点灯に変わり、次の文字位置でカーソルが点滅します。

ボタン	機能
II	カナ→アルファベット→記号と数字→よく使う言葉[1]の順に切り替わる。
VOL ＋/–	文字カーソルを左右に移動する。
⏮／►・⏭	アルファベットや記号・数字入力時はつまみを►・⏭側に押すと1文字ずつ変わる。⏮側に押すと戻る。カタカナ入力時につまみを⏮／►・⏭側に2秒以上押すと、「ア」↔「カ」↔「サ」↔「タ」の順に文字が選べる。
DISPLAY	2秒以内で押すと、記入位置に空白を挿入し、一文字分の文字を追加できる。 2秒以上押しつづけると、ディスク名入力の操作を中止する。
PLAYMODE	記入位置の文字を削除し、以降の文字を一文字ずつつめる。

1) よく使う言葉が登録されていると（ネームバンク機能）、一番最初に登録された言葉が表示されます（38ページ）。

5 手順4を繰り返して名前をつける。

途中で中止するときは、DISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。

6 ■ボタンを2秒以上押したままにする。

曲名またはディスク名がつきます。

編集する

再生中に曲名を入力する

1 **ディスクを入れて曲名をつけたい曲を再生する。**

2 DISPLAY**ボタンを2秒以上押す。**

「♫：Name」が点滅します。

3 **■ボタンを押す。**

曲名の入力準備状態になります。

4 **「停止中にディスク名を入力する」（35ページ）の手順4から6と同様の操作をする。**

録音中に曲名・ディスク名を入力する

1 **録音中に**DISPLAY**ボタンを2秒以上押す。**

「♫： Name」が点滅します。

2 **• 曲名を入力するには**
■ボタンを押す。

• ディスク名を入力するには
つまみを|◀◀または▶・▶▶|側に押して「💿：Name」を点滅させ、■ボタンを押す。

曲名またはディスク名の入力準備状態になります。

3 **「停止中にディスク名を入力する」（35ページ）の手順4から6と同様の操作をする。**

ご注意

録音中に曲名・ディスク名を入力しているときに録音が終了したときや、録音中に曲名入力をしているときに次の曲が始まったときは、その時点の入力が自動的に確定します。

途中でやめるときは

DISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。

入力できる文字

- カタカナ
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号 ！ " ＃ ＄ ％ ＆ （ ） ＊ ． ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ＋ － ' , ／ ： ␣（スペース）

名前を変えるには

手順1から3を行って、変更したい曲名またはディスク名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、ジョグレバー（リモコンでは■ボタン）を2秒以上押します。

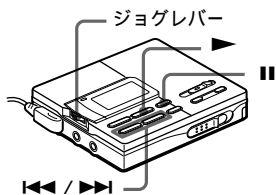
カナで入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、カナの先頭と最後に「＾」がつきます。

ご注意

- 市販のソフトや録音していないディスクに、曲名やディスク名をつけたり、書き換えをすることはできません。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やディスク名を、本機で書き換えることはできません。

よく使う言葉を登録する（ネームバンク機能）

曲名・ディスク名によく使う言葉を本体内に登録することができます。タイトルを入力中に、登録した言葉を呼び出すことによって、曲名・ディスク名の入力を簡単に行うことができます。登録のしかたには、入力中の言葉をそのまま登録するやりかたと、EDITメニューで登録するやりかたの二通りがあります。10文字程度の文字数の言葉であれば、約40種類登録できます（最大約600文字）。登録する言葉の文字数の合計によって、登録できる言葉の数は異なります。

本体で操作する

入力中の言葉を登録する

1 「曲名やディスク名をつける」（33ページ）の手順を行って名前をつける。

2 登録したい言葉を入力したら、II ボタンを約2秒間押したままにする。

「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。登録後は、そのまま名前をつける操作を続けることもできます。

すでに入力した曲名・ディスク名の言葉を登録することもできます。

「名前を変えるには」（36ページ）の手順を行って登録したい言葉が含まれている曲名またはディスク名を表示させ、VOL +/– ボタンを押して登録したい言葉の直後にカーソルを移動させ、IIボタンを約2秒間押したままにして登録します。

EDITメニューで登録する

1 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグレバーを動かして「Name Bank」を点滅させ、押す。

3 登録したい言葉を入力し、ジョグレバーを約2秒間押したままにする。

「Entry!」と表示され、入力した言葉が登録されます。

登録した言葉を呼び出す

曲名・ディスク名を入力中に、登録された言葉を呼び出すことができます。
呼び出しかたには、登録済みの言葉を表示して探すやりかたと、先頭の1文字で検索するやりかたの二通りがあります。

登録済みの言葉を表示して探す

1 「曲名やディスク名をつける」の手順を行い、「♫：Name」または「⊖：Name」を点滅させ、ジョグレバーを押す。

曲名またはディスク名の入力準備状態になります。

2 IIボタンを繰り返し押して最初に登録した言葉を表示させる。

3 ジョグレバーを動かすか、または⏮／⏭ボタンを繰り返し押す。
ジョグレバーを動かしたり、ボタンを押すたびに、登録済みの言葉が順に1つずつ表示されます。⏸ボタンを押すと、最初に登録された言葉が表示されます。

4 入力したい言葉を選び、ジョグレバーを押す。
選んだ言葉が確定します。

先頭の文字で検索する

1 曲名・ディスク名の入力中にVOL +/–ボタンを使って、呼び出したい言葉の最初の1文字にカーソルを置く。

2 ⏸ボタンを押して検索する。
該当する言葉が表示されます。該当する言葉が複数ある場合は、⏸ボタンを押すと次の言葉が表示されます。

3 入力したい言葉を選び、ジョグレバーを押す。
選んだ言葉が確定します。

登録した言葉を削除する

停止中に行います。MDが入っていない、または未録音のMDが入っている場合でも削除できます。

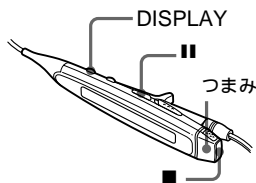
1 ジョグレバーを押して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグレバーを動かして「BankErase」を点滅させ、押す。

3 ジョグレバーを動かして削除したい言葉を選び、押す。
「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。
言葉が登録されていない場合は、「EMPTY」と表示されます。

途中でやめるときは

■ボタンまたはT MARKボタンを押します。

リモコンで操作する

入力中の言葉を登録する

1 「曲名やディスク名をつける」の「リモコンで操作する」（35ページ）の手順を行って名前をつける。

2 登録したい言葉を入力したら、⏸ボタンを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。登録後は、そのまま名前をつける操作を続けることもできます。

すでに入力した曲名・ディスク名の言葉を登録することもできます。
「名前を変えるには」（36ページ）の手順を行って登録したい言葉が含まれている曲名またはディスク名を表示させ、VOL +/– ボタンを押して登録したい言葉の直後にカーソルを移動させ、⏸ボタンを約2秒間押したままにして登録します。

EDITメニューで登録する

1 DISPLAY**ボタンを**2**秒間押したままにする**

2 つまみを⏮または▶・⏭側に押して「Name Bank**」を点滅させ、■ボタンを押す。**

3 登録したい言葉を入力し、■ボタンを約2**秒間押したままにする。**
「Entry!」と表示され、入力した言葉が登録されます。

登録した言葉を呼び出す

登録済みの言葉を表示して探す

1 「曲名やディスク名をつける」の「リモコンで操作する」の手順を行い、「♫：Name**」または「💿：**Name**」を点滅させ、■ボタンを押す。**
曲名またはディスク名の入力準備状態になります。

2 ⏸ボタンを繰り返し押して、最初に登録した文字を表示させる。

3 つまみを⏮または▶・⏭側に繰り返し押す。
つまみを⏮または▶・⏭側に押すたびに、登録済みの言葉が順に1つずつ表示されます。⏸ボタンを押すと、最初に登録された言葉が表示されます。

4 入力したい言葉を選び、■ボタンを押す。
選んだ言葉が確定します。

先頭の文字で検索する

1 曲名・ディスク名の入力中にVOL +/–**ボタンを使って、呼び出したい言葉の最初の**1**文字にカーソルを置く。**

2 ⏸ボタンを押して検索する。
該当する言葉が表示されます。該当する言葉が複数ある場合は、⏸ボタンを押すと次の言葉が表示されます。

3 入力したい言葉を選び、■ボタンを押す。
選んだ言葉が確定します。

登録した言葉を削除する

停止中に行います。ＭＤが入っていない、または未録音のMDが入っている場合でも削除できます。

1 DISPLAY**ボタンを**2**秒間押す。**

2 つまみを⏮または▶・⏭側に繰り返し押して「BankErase**」を点滅させ、■ボタンを押す。**

3 つまみを⏮または▶・⏭側に繰り返し押して削除したい言葉を選び、■ボタンを押す。
「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。
言葉が登録されていない場合は、「EMPTY」と表示されます。

途中でやめるときは

DISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。

電源について

家庭用電源（コンセント）以外に本機で使える電源は、以下の通りです。

本体に入れて…

－充電式ニッケル水素電池
NH-14WM

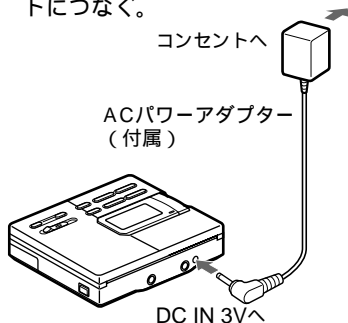
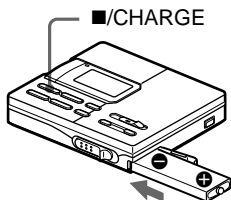
バッテリーケースを使って…

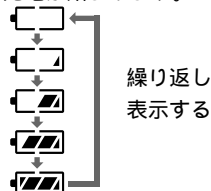
－単3形アルカリ乾電池1本

録音などで長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。

ニッケル水素電池を充電する

充電式ニッケル水素電池（付属）が使えます。お使いになる前に必ず充電してください。

1 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

2 本体に充電式ニッケル水素電池（付属）を入れる。

3 ■/CHARGEボタンを押す。

「Charging」が点滅し、▭の表示が出て、充電が始まります。

表示が消えたら充電完了

充電時間は、放電しきった状態から充分に充電するまでに約3時間かかります。充電の途中で中止したいときは■/CHARGEボタンを押します。

4 ACパワーアダプターをはずす。

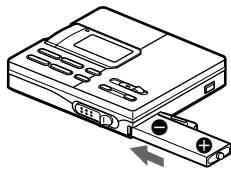
つないでいると、コンセントからの電源になります。

ご注意

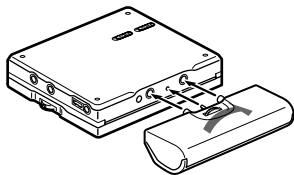
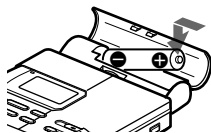
- 充電が終了し、液晶表示が消えた後すぐに■/CHARGEボタンを押すと、再び充電が始まりますが、異常ではありません。充電は完了しています。
- 充電中に他の操作を行うと、充電は解除されます。
- 充電には必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかったあとでは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電をくり返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電式電池を持ち運ぶときは付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットやバッグなどに入れると、電池の＋と－がショートして危険です。
- 長い間使用しないときは、充電式電池を本体から取り出しておいてください。

ニッケル水素電池で使う

お使いになる前に必ず充電しておいてください。

1 **充電したニッケル水素電池を＋/－を正しく入れる。**

乾電池で使う

付属の外付けバッテリーケースを使います。

1 **バッテリーケースを取り付ける。**

2 **乾電池を入れる。**

ご注意

電池を交換するときは、いったん停止させてから交換してください。

各電池の持続時間[1)]

長時間録音するときは、家庭用電源（コンセント）につないで使うことをおすすめします。

	録音時[2)]	再生時
充電式ニッケル水素電池（NH-14WM）	約6.5時間	約12時間
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)1本	約4時間	約16.5時間
充電式ニッケル水素電池（NH-14WM）＋ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)1本	約14.5時間	約29時間

1) 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

2) 録音する場合には電池の消耗による失敗を防ぐため、新しい乾電池または充分に充電した充電式電池をお使いください。

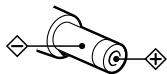
電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓に▭が点滅したりまたは「LOW BATT」が表示されます。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。
電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況により増減します。

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプターについて
本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

置き場所について
次のような場所には置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内(とくに夏季)。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

温度上昇について
本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

操作中の動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

表面のお手入れについて
水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

リモコンプラグのお手入れについて
リモコンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、リモコンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ミニディスクの取り扱いについて
ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
- **ミニディスクに直接触れない**
  シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

- **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる。**
- **置き場所について**
  直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
- **定期的にお手入れを**
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- **充電端子の汚れは**
  乾いた布でふきとってください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

充電式電池について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先:
社団法人電池工業会
TEL: 03-3434-0261
ホームページ: http://www.baj.or.jp

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは76ページに記載されているテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

症状	原因	処置
ふたが開かない	録音・編集中に電源をはずしたり電池が消耗してしまった。	電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する。
操作を受けつけない	ホールド機能が働いている(本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る)。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する(28ページ)。
	結露(内部に水滴が付着)している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 3Vジャックとコンセントにしっかり差し込む。
	充電池または乾電池が消耗している(▭ または「LOW BATT」表示が点滅)。	充電池を充電するか、乾電池を交換する(40、41ページ)。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおす(41ページ)。
	何も録音されていないディスクが入っている(「BLANK DISC」表示が出る)。	他のディスクと取り換える。
	表示窓のディスク表示が早く回転しているときは操作を受け付けられません。	ディスク表示がゆっくり回転してから次の操作をする。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。	次の手順で操作しなおす。 1　すべての電源をはずす。 2　約30秒間そのままにする。 3　電源をつなぐ。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入っていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおす。録音しなおす。
通常の再生ができない	リピート再生を指定した。	ジョグレバーを使って（リモコンではPLAYMODEボタンを押して)、⮌(リピート)表示が消えてから再生を始める(25ページ)。
ディスクの1曲目から再生できない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	1曲目に戻るまでジョグレバーを動かす(リモコンではつまみを⏮ 側に繰り返し押す)か、1度ふたを開けて、再生を始める位置をディスクの最初に戻す。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使う。
	ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。	–
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。

症状	原因	処置
充電ができない	ACパワーアダプターが正しくつながれていない。	正しくつなぎなおす(40ページ)。
録音・編集できない	音源と正しくつながれていない。	つなぎなおす(10、16ページ)。
	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーは家庭用電源で使い、音飛びガード機能(ESPなど)を「切」にする。
	抵抗入りの接続コードを使った(アナログ録音時)。	抵抗が入っていない接続コードを使う。
	ディスクの誤消去防止つまみが開いている（「PROTECTED」表示が出る）。	つまみを戻す。
	録音レベルが小さすぎる(手動調節時)。	一時停止状態にして、ジョグレバーまたは⏮／⏭ボタンで録音レベルを調節する(19ページ)。
	再生専用ディスクが入っている(「P/B ONLY」表示が出る)。	録音用ディスクと取り換える。
	ディスクの残り時間が12秒以下である(「DISC FULL」表示が出る)。	他の録音用ディスクと取り換える。
	録音、または編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消える。初めから録音しなおす。
頭出しマークのある位置を頭出しできない	⏮ または ⏭ ボタンを押してから一時停止した。	⏸ ボタンを押して一時停止してからジョグレバーを動かすか、⏮ または ⏭ ボタンを押して頭出しする。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	🎧/LINE OUTジャックにしっかり差し込む。
		リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込む。
	音量が小さすぎる。	VOL +/－ボタンで音量を調節する。
		ジョグレバーを使って「AVLS OFF」を選択する(27ページ)。
	リモコンプラグが汚れている。	リモコンプラグをからぶきする。
時計が正確に動かない	長時間電源をはずしていたため内蔵の時計用電源が消耗している。	ACパワーアダプターをコンセントにつないで充電する。ただし、時計用電源が消耗していなくても月に2分程度の誤差が生じることがあります(22ページ)。
時計表示が出ない（--y--m--dになる）	時計合わせをしていない。	時計を合わせる(22ページ)。
録音日時が記録されない	時計合わせをしていない。	時計を合わせる(22ページ)。
CDテキストの文字が記録されない	光デジタルケーブルがつながれていない。	光デジタルケーブルをつなぐ（16ページ）。
	CDテキスト対応のCDウォークマン（D-E01）とつながれていない。	CDテキスト対応のCDウォークマン（D-E01）とつなぐ（23ページ）。
	CDテキスト対応のCDを入れていない。	CDテキスト対応のCDを入れる。

症状	原因	処置
ボリュームが調節できない、またはデジタルメガベースが働かない	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている。	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（9ページ）。

システム上の制約による症状と原因

ミニディスクシステムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音可能時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出る。	254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。 さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まる。	同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり、全部で254曲になると、録音できなくなります。 さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
頭出しマーク(曲番)が消せない。	つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の頭出しマーク(曲番)を消して前の曲とつなぐことはできません。また、ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲、デジタル接続で録音した曲とアナログ接続で録音した曲もつなぐことはできません。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない。	通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。 また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒短くなります。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

メッセージ一覧

本体の表示窓にエラー表示が出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている（再生・編集時）。	他のディスクと取り換える。
DISC ERR	損傷しているディスク、録音や編集の内容などの情報が正しく入っていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおす。録音しなおす。
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒以下である(録音時)。	他の録音用ディスクと取り換える。
Data Save	録音した情報(音声)をメモリーからディスクに記録している。	しばらく待つ(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
TOC Edit	録音した情報(曲の開始・終了位置など)をメモリーからディスクに記録している(52ページ)。	しばらく待つ(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待つ。まれに1分ほどかかる場合があります。
NAME FULL	曲名やディスク名を200文字を越えて入力しようとした。 再生・停止中に曲名やディスク名を1700文字を越えて入力しようとした。	文字数の制限内で入力する。
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する(28ページ)。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える(40、41ページ)。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音をし直す。
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)によりダビングは禁止されている。	アナログ入力(LINE IN)を使って録音する(10ページ)。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。	光デジタル入力の接続を確かめる。 アナログ入力（LINE IN）するときは無視する。

表示	意味	対策
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている(録音・編集時)。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止つまみを戻す。
SORRY	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、デジタルメガベースを設定しようとした。	ジョグレバーを使って、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（9、14ページ）。
	ディスクの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。 種類の異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした（例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の頭出しマークを消そうとした）。 シンクロ録音中、またはCDテキストの情報を記録しながらの録音中に❚❚ボタンまたはT MARKボタンを押した。	–
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TR FULL	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト(曲の誤消去防止)がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集する。
EDITING	リモコンで編集中に本体キーのどれかを押した。	—
MENU	本体でメニューの選択中にリモコンキーのどれかを押した。	—
LINE OUT	🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、VOL +/–ボタンを押した。	ジョグレバーを使って、🎧/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（9、14ページ）。
NO TEXT	ジョイントテキスト機能を使おうとしたとき、録音もとのCDに曲名またはディスク名が入っていない。	—
EMPTY	ネームバンクに文字が登録されていないのに、削除しようとした。	—
BANK FULL	ネームバンクに登録されている文字が約600文字を超えた。	登録数を減らして入力しなおす。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- **調子が悪いときはまずチェックを**
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときはサービスへ**
  お買い上げ店、または添付の「ソニーサービスご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー相談窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
  当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

ミニディスク

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式
磁界変調光学方式

再生読み取り方式
非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー
GaAlAsダブルヘテロダイオード、λ=790nm

録音再生時間
最大160分(MDW-80使用、モノラル録音、再生時)
最大80分(MDW-80使用、ステレオ録音、再生時)
最大148分(MDW-74使用、モノラル録音、再生時)
最大74分(MDW-74使用、ステレオ録音、再生時)

回転数
約400rpm～1800rpm(CLV)

エラー訂正方式
アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード (ACIRC)

サンプリング周波数
44.1kHz

サンプリングレートコンバーター
入力：32kHz/44.1kHz/48kHz

コーディング
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング(ATRAC)

変調方式
EFM

チャンネル数
ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル

周波数特性
20～20,000Hz±3dB

ワウフラッター
測定限界以下

入力端子
マイク：ステレオミニジャック、入力レベル0.35～1.38mV
入力（アナログ）：ステレオミニジャック、入力レベル69～194mV
入力（光デジタル）*：光ミニジャック
*入力（光デジタル）と入力（アナログ）は兼用ジャック

出力端子
🎧/LINE OUT*：ステレオミニジャック
- ヘッドホン：最大出力レベル5mW+5mW、負荷インピーダンス16Ω
- LINE OUT：規定レベル 194mV、負荷インピーダンス 10kΩ

*ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャック

電源・その他

電源
充電式ニッケル水素電池
NH-14WM (付属)
乾電池　アルカリ単3形1本(別売り)

電池持続時間
「各電池の持続時間」(41ページ)参照

外形寸法
MZ-R90
本体　約78.9 × 17.3 × 72.0 mm
MZ-R91
本体　約78.9 × 18.0 × 72.0 mm
(幅/高さ/奥行き、最大突起部を含まず)

質量
MZ-R90
本体　約105g
本体使用時　約148g(録音用ミニディスク、充電式電池NH-14WMを含む)
MZ-R91
本体　約110g
本体使用時　約153g(録音用ミニディスク、充電式電池NH-14WMを含む)

付属品

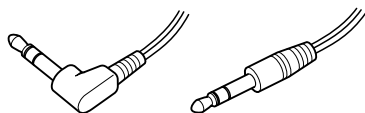
ACパワーアダプター(1)
リモコン付きヘッドホン(1)
充電式ニッケル水素電池(1)
乾電池ケース（単3形アルカリ乾電池用）(1)
バッテリーキャリングケース(1)
キャリングポーチ(1)
取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

別売りアクセサリー

充電式ニッケル水素電池NH-14WM
ガム型ニッケル水素充電池用充電器BC-9HM
光デジタルケーブル
光角形プラグ←→光ミニプラグ POC-5/10/15AB
光ミニプラグ←→光ミニプラグ POC-5/10/15B
光ミニプラグ（入／出力）←→L型7ピンコネクターPOC-DA12SP
接続コード(アナログ)
ステレオミニプラグ←→ピンプラグ(X2) RK-G129
ステレオミニプラグ←→ステレオミニプラグ RK-G136
CDテキスト接続ケーブル RK-TXT1
カーコネクティングパックCPA-8
カーバッテリーコードDCC-E230
リモートコントローラーRM-MZE1
ステレオマイクロホンECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957
ステレオヘッドホン*MDR-D77/D55、MDR-E888SP
アクティブスピーカーSRS-Z500/Z750/Z1000
ミニディスク(生ディスク)ESシリーズ
MDキャリングポーチMD-4CPMN/V
MDソフトキャリングポーチMD-4SCPL/N
MDラベルプリンターMZP-1

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

＊ ヘッドホンは、本体の🎧/LINE OUTジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。

解説

ここでは、技術用語やミニディスクの特徴的な動作について解説します。

ミニディスクとは

直径64mmのディスクをカートリッジに収めたデジタルメディア、それが、ミニディ スク(MD)です。大きさはコンパクトディスク(CD)の約半分ですが、録音時間はほぼ同じ。音質においても、音声圧縮技術ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding) に より、CDに迫る高音質を実現しています。また、カートリッジに入っているため、指紋や傷がつきにくく、取り扱いが手軽です。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上 の領域です。どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミ ニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。

録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などのさい、ミニディスクレコーダ ーはTOCの書き換え作業を行います(「TOC Edit」が表示されます)。この間はディスク への記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記 録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

サンプリングレートとは

サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを 表す数値です。一般に数値が大きいほど高音質になります。 サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは 、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子 に入ってきたサンプリングレートの異なる信号(BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど) は、コンバータによって、MDのサンプリングレート(44.1kHz) に変換されて録音され ます。

MDの曲番のつきかた

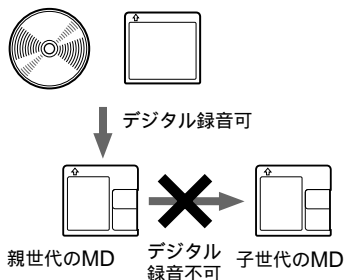
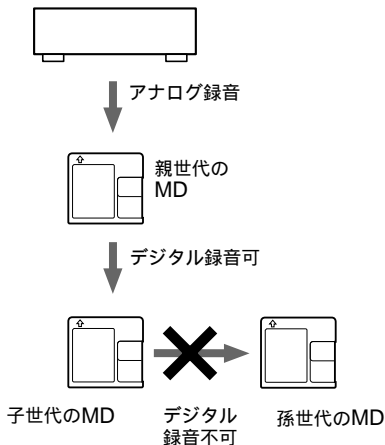
CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で 曲番を作成し記録します。

デジタル入力からの録音→入力ソースのトラック番号が変化したとき

アナログ入力からの録音→2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたとき。

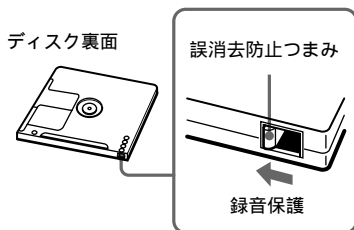
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番が記録されます。

デジタル録音の制限について

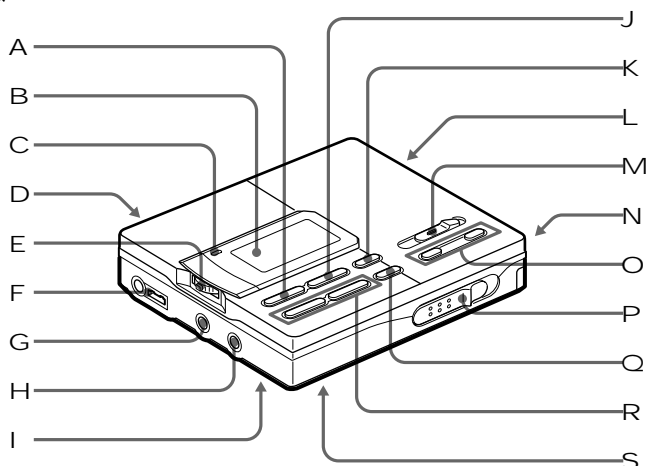
本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメント システム（SCMS）」に準拠しています。CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

ご注意

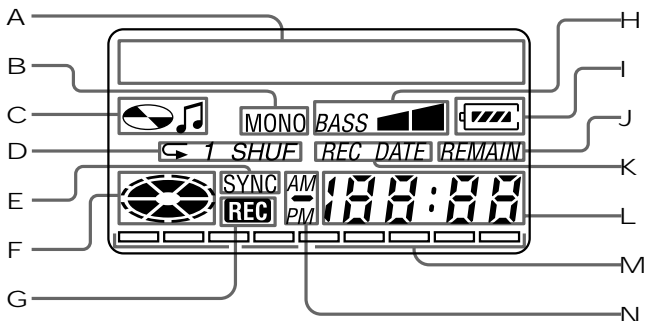
著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

録音したものを誤って消さないために

誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。再び録音するときはつまみをもとに戻します。

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

本体

1 ■（停止）/CHARGEボタン（11、13、30、40）
2 表示窓（17、25）
3 RECランプ（21）
4 DC IN 3Vジャック（背面）（10、12、40）
5 ジョグレバー（9、18、25、33）
6 🎧/LINE OUTジャック（9、12、23、29）
7 MIC (PLUG IN POWER)ジャック（18）
8 LINE IN (OPTICAL)ジャック（10、16）
9 HOLDスイッチ（28）
10 ►（再生）ボタン（11、13、38）
11 ▮▮（一時停止）ボタン（11、13、22、34、37）
12 T MARKボタン（背面）（30）
13 RECスイッチ（11）
14 電池入れ（背面）（40）
15 VOL＋/－ボタン（13、34）
16 OPENスイッチ（10、12）
17 END SEARCHボタン（11、34）
18 ⏮（早戻し）/⏭（早送り）ボタン（11、13、32、34、37）
19 SYNCHRO REC ON/OFFスイッチ（17）

表示窓

1 文字情報表示部（17、25）
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。

2 モノラル表示

3 ディスクネームマーク／トラックネームマーク
曲名やディスク名をつけるときに表示されます。

4 再生状態表示（25）
ディスクの再生状態を表示します。

5 シンクロ録音表示（17）
シンクロ録音時に表示されます。

6 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。

7 録音表示（11）
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。

8 メガベース表示（26）

9 電池残量表示（40）
充電池や乾電池の残量の目安を表示します。

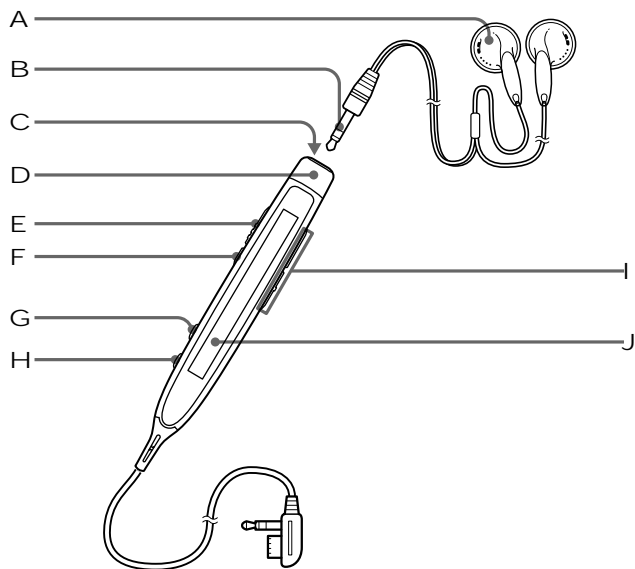
10 REMAIN表示（20、27）
ディスクの残り曲数、ディスクや曲の残り時間を表示していることを示します。

11 REC DATE表示（27）
表示窓に録音日時が出ているときに表示されます。

12 時刻／時間表示（20、27）
録音時刻、現在時刻、曲の再生時間、曲やディスクの残り時間を示します。

13 レベル表示（19）
録音時には入力レベルを、再生時には再生音のレベルを表示します。

14 午前／午後表示（22）
時刻が12時間表示のときに表示されます。

リモコン付きヘッドホン

1 ヘッドホン
別売りのヘッドホンに付け替えられます。

2 ステレオミニプラグ

3 ■（停止）ボタン（13、33、35）

4 つまみ（13、33、35、38）
停止中に►・►►I側に押すと再生、再生中に► ・►►I 側に押すと頭出し、押したままにすると早送り、再生中にI◄◄側に押すと頭出し、押したままにすると早戻しとなります。

5 HOLDスイッチ（28）
リモコンのボタンが働かなくなり、誤操作を防ぎます。

6 II（一時停止）ボタン（35、38）

7 PLAY MODEボタン（26、35）

8 DISPLAYボタン（21、28、33、38）

9 VOL（音量）+/−ボタン（13、35）

10 表示窓（21、26）

Operating Instructions

Welcome!

Welcome to the world of the MiniDisc! Here are some of the capabilities and features you'll discover with the new MiniDisc Recorder.

- Recording MD Walkman in an ultra-compact body — Almost as small as a playback-only MD Walkman; easy to carry in your pocket or bag.
- Ultra-light body (MZ-R90) — Magnesium lid for extra lightness.
- Ultra-compact body (MZ-R91) — Fashionable design and colors.
- Low power consumption design — Less drain and longer service life for the rechargeable battery.
- 9-letter, backlit LCD remote control with editing capabilities — You can now label tracks and discs, change track sequence, etc., with the easy-to-operate stick remote controller.
- Simultaneous labeling feature — No more waiting for the recording to end; you can label tracks and discs while the MD is being recorded.
- Phrase bank function — Phrases that you often use in track or disc names can be stored in the recorder's memory and retrieved whenever you need them.
- Copying CD Text — If you use a CD text connecting cord (not supplied) to connect a Joint Text-compatible portable CD player to the recorder, CD text data (such as track and disc names) on the CD that is compatible to CD-TEXT display will be recorded automatically during recording.
- Shock-resistant memory — Offsets up to 40 seconds of optical read errors.
- High-fidelity recording — Low-noise, low-distortion, high-fidelity recording through the optical digital input jack.
- Digital synchro-recording — When recording from a digital equipment with optical output, the recorder automatically starts and pauses recording in sync with operation on the digital source.
- Digital REC level control.
- Long recording with monaural sound — You can record up to 160 minutes (when using 80 minutes recordable MD) on a disc using monaural recording.
- Date and time stamp function — The built-in clock automatically records the date and time whenever you make a recording.
- Digital AGC (Auto Gain Control) — Automatic recording level adjustment without sacrificing superb digital sound.

This manual is for models MZ-R90 and MZ-R91

The MZ-R90 appears in the instructions for illustration purposes. Though they differ in appearance, the models share the same functions and are operated in the same way.

How to use the jog lever

The jog lever can be used to perform various operations during playback, recording, and editing, as well as when the recorder is stopped. Flip the jog lever to select an item in the display. Then press the jog lever to enter your selection.

About the 🎧/LINE OUT jack on the recorder.

The parameter (“AUDIO OUT”) for the 🎧/LINE OUT jack must be set to “HeadPhone” if you want to connect headphones other than the supplied set, or to “LINE OUT” if you want to connect another component to the recorder through a line cable. There is no need to make this when using the supplied headphones with remote control since it is done automatically.

To set the “AUDIO OUT” parameter for the 🎧/LINE OUT jack, do the following procedure:

1. Press the jog lever, flip until “AUDIO OUT” flashes in the display, and then press the lever again.
2. Flip the jog lever until “HeadPhone” or “LINE OUT” flashes in the display.
3. Press the jog lever when the item you want to select is flashing.

Notes

- When the “AUDIO OUT” parameter is set to “LINE OUT”, the VOL +/– buttons and the Mega Bass function become inoperative. To make them operative, set the “AUDIO OUT” parameter to “HeadPhone”.
- The “AUDIO OUT” parameter is automatically set to “HeadPhone” when you turn off the power.

Looking at the controls

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 54 to 56).

The recorder

1 ■ (stop) /CHARGE button
2 Display window
3 REC indicator
4 DC IN 3V jack
5 Jog lever
6 🎧/LINE OUT (headphones/line out) jack
7 MIC (PLUG IN POWER) jack
8 LINE IN (OPTICAL) jack
9 HOLD switch
Slide to lock the controls of the recorder.
10 ► (play) button
11 ❚❚ (pause) button
12 T MARK (track mark) button
13 REC (record) switch
14 Battery compartment
15 VOL (volume) +/– buttons
16 OPEN switch
17 END SEARCH button
18 ⏮/⏭ (search/AMS) buttons
19 SYNCHRO REC (synchro-recording) ON/OFF switch

The display window of the recorder

1 Character information display
Displays the disc and track name*, date, error messages, track numbers, etc.
* Disc and track names appear only with MDs that have been electronically labeled.
2 MONO(monaural) indication
3 Disc name/track name indications
Appears when labeling disc or track respectively.
4 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.
⮎ (all repeat): All tracks play repeatedly.
⮎ *1*(single repeat): One track plays repeatedly.
⮎ *SHUF*(shuffle repeat): Tracks will be repeated in random order.
5 SYNC (synchro-recording) indication
Lights up while synchro-recording.
6 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
7 REC indication
Lights up while recording. Flashes when standing by for recording.
8 Mega bass indication
9 Battery indication
Shows approximate battery condition. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
10 REMAIN (remaining time/tracks) indication
Lights up along with the remaining time of the track, remaining time of the MD, or remaining number of tracks.
11 REC DATE (recorded/current date) indication
Lights up along with the date and time the MD was recorded. When only “DATE” lights up, the current date and time are displayed.
12 Time display
Shows the elapsed time of the track being recorded or played.
13 Level meter
Shows the level of the MD being played or recorded.
14 AM/PM indication
Lights up along with the time indication in the 12-hour system.

The headphones with a remote control

1 Headphones
Can be replaced with optional headphones.
2 Stereo mini plug
3 ■ (stop) button
4 Control
To play, press the control towards ►•►►I during stop. Press the control towards ►•►►I during play to search the beginning of the succeeding track; hold in this position to fast-forward. Press towards I◄◄ during play to search the beginning of the preceeding track; hold in this position to rewind.
5 HOLD switch
Slide to lock the controls of the remote control.
6 II (pause) button
7 PLAY MODE button
8 DISPLAY button
9 VOL (volume) + / – buttons
When the AVLS is set to on, you cannot increase the volume to the maximum. To increase the volume above the limited level, set the AVLS to off using the jog lever.
10 Display window

►MD recording

Recording an MD right away!

See the illustrations in the Japanese text (pages 10 and 11).

Use a line cable (not supplied) to hook up an analog source. The sound will be sent from the connected equipment as analog signal but will be recorded digitally on the disc. If you want to record programs from digital equipments or a microphone, see “Various ways of recording.”
Premastered MDs cannot be recorded over.

1 Make connections. (Insert the cables firmly and completely into the appropriate jacks.)
   ① Connect the LINE IN (OPTICAL) jack of recorder to the LINE OUT R(red)/L (white) jacks of the source with a line cable.
   The recorder switches to analog input automatically.
   ② Connect the DC IN 3V jack of the recorder to a wall outlet with the supplied AC power adaptor.
   When the recorder has different sound sources connected at the same time, the recorder switches to the digital, microphone, or analog input in this order of priority.
2 Insert a recordable MD.
   ① Slide OPEN to open the lid.
   ② Insert a recordable MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
3 Select recording start point.
   If you want to add a recording to the end of the previous recording, press END SEARCH.
   (If you want to start recording from the beginning, skip this step).
4 Start recording.
   ① Slide REC to the right.
   “REC” lights up and recording starts .
   ② Play the sound source.
   The level of the recorded sound is adjusted automatically.

To stop recording, press ■.

After you press ■, the recorder will automatically turn off in about 10 seconds (when using batteries) or about 5 minutes (when using AC power adaptor).

Notes

- Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the “Data Save” or “TOC Edit” indication is flashing in the display.
- The lid does not open until “TOC Edit” disappears in the display.

To	Press
Record over partway through the previous recording	►, ►►I or I◄◄ to find the start point of recording and press ■ to stop. Then slide the REC switch.
Pause	II.[1] Press II again to resume recording.
Remove the MD	■, then slide OPEN to open the lid.[2]

[1] A new track mark is added at the point where you pressed II again to resume recording while pausing, and the recording will be marked with the new track number when you resume recording.

[2] Once you open the lid, the point to start recording will change to the beginning of the first track. When recording on a recorded MD, check the point to start recording on the display.

If the recording does not start

- Make sure the MD is not record-protected.
- Make sure the recorder is not locked.
- Premastered MDs cannot be recorded over.

Note

If the power supply is disrupted (i.e. the battery is removed or becomes exhausted or the AC power adaptor is disconnected) during a recording or editing operation, or while “TOC Edit” appears in the display, then it will not be possible to open the lid until power is restored.

►MD playing

Playing an MD right away!

See the illustrations in the Japanese text (pages 12 and 13).

If you want to use the rechargeable battery, be sure to recharge them before playing (see page 72).

1 Make connections. (Insert the cables firmly and completely into the appropriate jacks.)
  ① Connect the remote control-equipped headphones (supplied) to the 🎧/LINE OUT jack.
  ② Connect the DC IN 3V jack of the recorder to a wall outlet with the supplied AC power adaptor.

2 Insert an MD.
  ① Slide OPEN to open the lid.
  ② Insert an MD with the label side facing up, and press the lid down to close.

3 Start playing.
  ① Press ► (Press the control towards ►•►►I on the remote control).
  A short beep sounds in the headphones.
  ② Press VOL +/– to adjust the volume.

To stop play, press ■.

To	Do this (Beeps in the headphones)
Find the beginning of the current track	Press I◄◄ once. Press the control towards I◄◄ on the remote control. (Three short beeps)
Find the beginning of the next track	Press ►►I once. Press the control towards ►•►►I on the remote control. (Two short beeps)
Go backwards while playing[1]	Keep pressing I◄◄. Keep pressing the control towards I◄◄ on the remote control.

Go forward while playing[1]	Keep pressing ▶▶I. Keep pressing the control towards ▶•▶▶I on the remote control.
Pause	Press II. (Continuous short beeps) Press II again to resume play.
Remove the MD	Press ■, then slide OPEN to open the lid.[2]

[1] To go backwards or forward quickly without listening, press II and hold down I◀◀ or ▶▶I (keep pressing the control on the remote control).

[2] Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track.

If the playback does not start

Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow.

When using optional headphones

- Use headphones with a stereo mini-plug. You cannot use headphones with a micro-plug.
- The VOL +/– buttons and the Mega Bass function may become inoperative. In this case, do the procedure below.
  1. Press the jog lever, flip until "AUDIO OUT" flashes in the display, and then press the lever again.
     "LINE OUT" flashes in the display.
  2. Flip the jog lever until "HeadPhone" appears in the display.
  3. Press the jog lever again.

Notes

- The sound may skip during playback when the recorder is exposed to continuous vibration, such as while jogging.
- If the power supply is disrupted (i.e. the battery is removed or becomes exhausted or the AC power adaptor is disconnected) when the recorder is operating, the lid will not open until the power is restored.

▶*Various ways of recording*

Connecting digital (optical) and analog (line) inputs

The recorder selects digital or analog input according to how the sound source is hooked up.

Input / Difference	Digital (optical) input	Analog (line) input
Connectable source	Equipment with an digital (optical) output jack	Equipment with an analog (line) output jack
Usable cord	Optical cable (with an optical or an optical-mini plug)	Line cable (with 2 phono plugs or a stereo-mini plug)
Signal from the source	Digital	Analog Even when a digital source (such as a CD) is connected, the signal sent to the recorder is analog.
Recorded track numbers	Marked (copied) auto-matically • at the same positions as the source. • after more than 2 seconds of silence[1]. • when recording is paused.	Marked • after more than 2 seconds of silence. • when recording is paused. You can erase unnecessary marks after recording.

Operating Instructions

continued

Recorded sound level	Same as the source. You can also adjust it manually (Digital REC level control).	Adjusted auto-matically. You can also adjust it manually.

[1] When recording a CD or an MD, track numbers are automatically marked in the order of the original disc.

Recording with digital(optical) input (optical cable required)

See the illustration in Japanese text (page 16.

Connect to a digital source using an optical cable (POC-5B or POC-5AB, not supplied) to make digital recordings. Digital recording is possible even from digital equipment with different sampling rates, such as a DAT deck or a BS tuner, using the built-in sampling rate converter.

1. Connect the LINE IN (OPTICAL) jack of the recorder to the optical digital output jack of the source with an optical cable (not supplied).
   The recorder switches to digital input automatically.
2. Connect the power source.
   To use on AC power, see "Recording an MD right away!." To use on other power sources, see pages 72 and 73.
3. Insert a recordable MD.
   Slide OPEN to open the lid, insert a recordable MD, and close the lid.
4. Press and slide REC to the right.
   "REC" lights up and recording starts.
5. Play the sound source.

To stop recording, press ■.

Notes

- You can make a digital recording only from an optical type output.
- When recording from a portable CD player, play it on AC power and disable the anti-skip function (such as ESP*).
- Digital output may be disabled on some portable CD players when the player is not run on AC power.

* Electronic Shock Protection

Synchro-recording from a digital source

See the illustration in Japanese text (page 17).

You can easily dub a digital source on an MD by using the SYNCHRO REC switch. Before synchro-recording, be sure to make digital connection and insert a recordable MD. Note that track marks are automatically marked at the same positions as the source.

1. Slide the SYNCHRO REC switch to ON.
   "SYNC" lights up in the display.
2. Slide REC to the right.
   "REC" lights up in the display.
   The recorder starts recording when you start playing the source player.

To stop recording, press ■.

Notes

- Do not switch SYNCHRO REC after step 2. Recording may not be made properly.
- When recording in monaural, follow steps 1 to 3 of "Recording in monaural for double the normal recording time" (page 63), and then do steps of synchro-recording.
- Even when there is no recorded sound on the sound source, there may be cases when recording does not pause automatically during synchro-recording due to the noise level emitted from the sound source.
- If a silent portion is encountered for 2 seconds or more during synchro-recording, a new track mark is automatically added at the point where the silent portion ends.
- Synchro-recording cannot be done if the connecting cord is not an optical cable, or if the cable is connected to the MIC (PLUG IN POWER) jack.
- You cannot adjust the recording level manually during synchro-recording.

Recording from a microphone

See the illustration in the Japanese text (page 18).

Connect a microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack. Use a stereo microphone (ECM-717, ECM-MS907, ECM-MS957, etc., not supplied).

1 Insert a recordable MD.
Slide OPEN to open the lid, insert a recordable MD, and close the lid.

2 Slide REC to the right.
"REC" lights up and recording starts.

To stop recording, press ■.

Notes

- You cannot record through the microphone while an optical cable is connected to the LINE IN (OPTICAL) jack. The recorder automatically switches input in the following order; optical input, microphone input, and analog input.
- The microphone may pick up the operating sound of the recorder itself. Use the microphone away from the recorder in such cases.

Recording in monaural for double the normal recording time of an MD

See the illustration in the Japanese text (page 18).

For longer recordings, choose to record in monaural. The recording time becomes double the normal.

1 While pressing ❚❚, slide REC to the right.
The recorder stands by for recording.

2 Press the jog lever, flip until "REC MODE" flashes in the display, and then press the lever again.

3 Flip the jog lever until "Mono REC" flashes in the display, and then press the lever.
To switch back to stereo recording again, press the lever while "Stereo REC" flashes in the display in this step.

4 Press ❚❚ again to start recording.

5 Start the sound source.

To stop recording, press ■.

The recorder switches back to stereo recording when you record next time.

Notes

- If you record in monaural from a stereo source, the sounds from left and right will be mixed.
- You cannot record in monaural if SYNCHRO REC is slid to ON. If you are recording digital input, make sure to slide SYNCHRO REC to OFF before you begin recording.
- The MDs recorded in monaural can be played back only with an MD player/ recorder that has the monaural playing function.
- Sound recorded through digital (optical) input can be monitored in stereo through headphones, etc.

Adjusting the recording level (Manual recording)

See the illustration in the Japanese text (page19).

When you record with an analog (line) input, the sound level is adjusted automatically. If necessary, you can set the level manually.

1 While holding down ❚❚, slide REC to the right.
  The recorder stands by for recording.
2 Press the jog lever, flip until "RecVolume" flashes in the display, and then press the lever again.
3 Flip the jog lever until "ManualREC" flashes in the display, and then press the lever.
  To switch back to the automatic level adjustment, press the lever while "Auto REC" flashes in the display.
4 Play the program source.
5 While observing the level meter in the display, adjust the recording level by flipping the lever or pressing ▶▶❙ (+) or ❙◀◀ (–).
  Set the level so that the level meter reaches around ▬ (–12 dB) mark beneath the display window.
  If the sound is too high, lower the recording level until the level meter just barely reaches the ▭ (OVER) mark beneath the display window.
  Recording does not start in this step.
  If your source is an externally connected component, be sure to cue the source to the begining of the material to be recorded before you start playback.
6 Press ❚❚ again to start recording.

To stop recording, press ■.

Notes

- The recording level cannot be adjusted while recording is in progress. If you want to adjust the recording level after you have started the recording, press ❚❚ to pause the recorder. Then do the procedure from step 5.
- You cannot adjust the recording level manually during synchro-recording.

Setting the clock to stamp the recorded time

See the illustrations in the Japanese text (page 22).

To stamp the date and time on the MD when you record, you need to set the clock.

1 Connect the supplied AC power adaptor.
2 Press the jog lever while no disc is inserted or the recorder is stopped.
3 Flip the jog lever until "CLOCK SET" flashes in the display, and then press the lever.
  The digits of the year flash.
4 Change the current year by flipping the jog lever and press to enter.
  The digit of the month flashes.
5 Repeat steps 4 to enter the current month, date, hour, and minute.
  When you press the jog lever to enter the minute, the clock starts operating.

If you make a mistake while setting the clock

Press ■, and repeat the steps above.
Press the jog lever to locate the digit to be changed.

To display the time in the 24-hour system

Press ❚❚ while setting the clock. To change the clock to the 12-hour system, press ❚❚ again.

Charging the built-in battery for the clock

After setting the clock, leave the recorder connected to the AC power for about 2 hours to charge the built-in battery for the clock. Once charged, the built-in battery will last for about a month without being connected to any of the power sources. The recorder will automatically charge the built-in battery while operating on AC power, a rechargeable battery or dry batteries.

Copying CD text information while recording (Joint Text)

CD text connecting cable, CD that support CD-TEXT, and CD player that support Joint Text required.

See the illustration in the Japanese text (page 23)

By connecting the recorder to a Sony portable CD player that supports Joint Text (the CD text copying function) (D-E01), you can copy track and disc names automatically during recording. In addition to the CD text connecting cable (RK-TXT1), make sure to connect the recorder to the portable CD player with an optical cable.

1 Slide REC to the right to start recording on the recorder, and start playing the CD in the portable CD player.
"SYNC", "REC" and "♫" lights up in the display.
"CD TEXT" appears for a few seconds, then "001 TEXT?" and "PushENTER" alternate in the display.
"NO TEXT" appears at this time if no track name information exists in the CD. In this case, the track name will not be copied.

2 Press the jog lever.
Track name scrolls, and then the track name and "PushENTER" alternate in the display.

3 Press the jog lever.
Track name scrolls in the display while the name is copied.

4 Follow steps 2 and 3 to copy each new track name that appears.

5 Press ■ on the recorder at the point you want to stop recording.
"" lights up, and then "000 TEXT" and "PushENTER" alternate in the display.
If you don't want to copy the disc name information, press ■ again. The disc name is not copied and the operation ends.
"NO TEXT" appears at this time if no disc name information exists in the CD. In this case, the operation ends without copying the disc name.

6 Press the jog lever.
Disc name scrolls, and then disc name and "PushENTER" alternate in the display.

7 Press the jog lever.
"TOC Edit" flashes.
Afterwards, the disc name scrolls in the display.

Notes

- If you copy disc name information to a disc with a previously recorded disc name, the old disc name will be overwritten with the new one.
- When the CD text copying function is on, various settings and editing functions cannot be accessed with the jog lever.
- The CD text copying function (joint text) can only be used with component (D-E01) with the joint text logo.
- The CD text copying function can only be used with CDs and component (D-E01). The CD text copying function can only be used with CDs that support CD-TEXT.
- The RK-TXT1 CD text connecting cable is designed for exclusive use with this recorder and Sony portable CD player (D-E01). Do not use a connecting cable of another make to copy CD text information.
- The remote becomes inoperative when the CD text connecting cable (RK-TXT1) is connected to the recorder.
- Stopping or pausing playback on the CD player automatically causes recording on the recorder to pause. A new track mark is automatically added when you resume recording.
- The track name of the track currently played will not be recorded if you stop or pause CD playback in the middle of the copying process on the recorder.

►*Various ways of playback*

Playing tracks repeatedly

See the illustrations in the Japanese text (page 25).

1 While the recorder is playing an MD or stopped, press the jog lever, flip until “PLAY MODE” flashes in the display, and then press the lever again.

2 Flip the jog lever to select the play mode, and then press the lever.
Each time you flip the lever, the play mode changes and when you press the lever to select, indication appears in the display as follows.

Connecting to a stereo system (LINE OUT)

See the illustration in Japanese text (page 29).

Connect the /LINE OUT jack of the recorder to the LINE IN jacks of an amplifier or a tape player with a line cable (not supplied).
The output is analog. The recorder plays the MD digitally and sends analog signals to the connected equipment.

When connecting a line cable to the /LINE OUT jack

When connecting a line cable (not supplied), be sure to set the “AUDIO OUT” parameter for the /LINE OUT jack.

1 Press the jog lever, flip until “AUDIO OUT” flashes in the display, and then press the lever again.

2 Flip the lever until “LINE OUT” flashes in the display, and then press the lever again.

Notes

- If the “AUDIO OUT” parameter for the / LINE OUT jack is set to “LINE OUT”, VOL +/– or DIGITAL MEGA BASS will not function.
- The “AUDIO OUT” parameter for the / LINE OUT jack cannot be set to “LINE OUT” when the supplied remote control is connected.
- When you turn off the power, the “AUDIO OUT” parameter for the /LINE OUT jack automatically switches to “HeadPhone”.

▶Editing recorded tracks

You can edit your recordings.
Premastered MDs cannot be edited.

Notes on editing

- Do not move or jog the recorder while "TOC Edit"* is flashing in the display.
- You cannot edit tracks on an MD that is record -protected. Before editing tracks, close the tab on the side of the MD.
- If you perform an editing operation while playing, be sure not to turn the power off until "TOC Edit" disappears in the display.
- The lid does not open until "TOC Edit" disappears in the display after editing.

* TOC = Table of Contents

Erasing a track

See the illustration in the Japanese text (page 30).

You can quickly erase a recorded track. Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it.

1 While playing the track you want to erase, press the jog lever so that "EDIT" flashes in the display, then press the lever again.
"♫ : Name" flashes in the display, and the recorder plays the selected track repeatedly.

2 Flip the jog lever until "♫ : Erase" flashes in the display, and then press the lever.
"Erase OK?" and "PushENTER" appear alternately in the display.
To cancel erasing, press ■ or T MARK.

3 Press the jog lever again.
The track is erased and the next track starts to play. All the tracks after the one erased are automatically renumbered.

To erase a part of a track

Add track marks at the beginning and the end of the part you want to erase, then erase the part.

Erasing a whole disc

See the illustration in the Japanese text (page 31).

You can quickly erase all the tracks and data of the MD at the same time. Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it.

1 While the recorder is stopped, press the jog lever so that "EDIT" flashes in the display, and then press the lever again.
"💿 : Name" flashes in the display.

2 Flip the jog lever until "💿 : Erase" flashes in the display, and then press the lever.
"AllErase?" and "PushENTER" appear alternately in the display.
To cancel erasing, press ■ or T MARK.

3 Press the jog lever again.
"TOC Edit" flashes in the display, and all the tracks will be erased.
When erasing is complete, "BLANKDISC" appears in the display.

Adding a track mark

See the illustration in the Japanese text (page 31).

You can insert a track mark into a track.

1 While the recorder is playing or pausing an MD, press T MARK on the recorder at the point you want to mark.
"MARK ON" appears in the display, and the track mark is added.

To add track marks while recording (except while synchro-recording)

Press T MARK at the point you want to add a track mark.

Erasing a track mark

See the illustrations in the Japanese text (page 32).

When you record with analog (line) input, unnecessary track marks may be recorded where recording level is low. You can erase a track mark to combine the tracks before and after the track mark.

1. While playing the track with the track mark you want to erase, press ❚❚ to pause.
2. Find the track mark by pressing ⏮ slightly.
   "00:00" flashes in the display.
3. Press the T MARK to erase the mark.
   "MARK OFF" appears in the display.
   The track mark is erased and the two tracks are combined. The number of the newly combined track will be that of the first track and the succeeding tracks will be renumbered.

Moving recorded tracks

See the illustrations in the Japanese text (page 32).

You can change the order of the recorded tracks.

On the recorder

1. While playing the track you want to move, press the jog lever so that "EDIT" flashes in the display, and then press the lever again.
   "♫ : Name" flashes in the display and the recorder plays the selected track repeatedly.
2. Flip the jog lever until "♫ : Move" flashes in the display, and then press the lever.
3. Flip the jog lever to select the destination track number.
   To cancel moving, press ■ or T MARK.
4. Press the jog lever again.
   The track moves to the selected destination track.

On the remote control

1. Press DISPLAY for 2 seconds or longer while playing the track you want to move.
   "♫ : Name" flashes in the display and the recorder plays the selected track repeatedly.
2. Press the control towards ⏮ or towards ▶•⏭ repeatedly until "♫ : Move" appears in the display.
3. Press ■.
4. Press the control towards ⏮ or towards ▶•⏭ repeatedly to select the destination track number.
5. Press ■ again.
   The selected track moves just before the destination track.

Labeling recordings

See the illustration in the Japanese text (page 33).

You can name tracks during playback, discs during stop, and both during recording. Each name can be as long as 200 letters.
Each disc can hold up to 1700 alphanumeric letters or 800 katakana characters during playback or stop.

Labeling on the recorder

Labeling a disc during stop

1. Insert a disc.
   To label a disc that is already in the recorder, press ■ to stop.
2. Press the jog lever so that "EDIT" flashes in the display, and then press the lever again.
   "💿 : Name" flashes in the display.
3. Press the jog lever again.
4. Flip the jog lever to select a letter and press the lever to enter.
   The selected letter stops flashing and the cursor moves to the next input position.
   Press ❚❚ to switch between katakana, the alphabet, symbols / numbers, and phrases (if phrases are stored in the phrase bank).

Press VOL +/– to move the cursor to left or right.
Press ▶▶I when inputting alphabet, symbol or numbers to change the letter to the one before/next one. Press I◀◀ to go back.
Press END SEARCH together with VOL + to insert a blank space to type in a new letter.
Press END SEARCH together with VOL – to delete a letter and move back all following letters to the left.
Press ■ or T MARK to cancel labeling.

5 Repeat step 4 and enter all characters of the label name.
6 Press down the jog lever for 2 seconds or more.
The track or disc is labeled.

Labeling a track during playback

1 Insert a disc and play the track you want to label.
2 Press the jog lever so that “EDIT” flashes in the display, and then press the lever again.
“♫ : Name” flashes in the display.
3 Press the jog lever again.
4 Follow steps 4 to 6 of “Labeling a disc during stop” above.

Labeling a track or a disc during recording

1 While recording, press the jog lever so that “EDIT” flashes in the display, and then press the lever again.
“♫ : Name” flashes in the display.
2 To label a track, press the jog lever again.
To label a disc, flip the lever until “⊖ : Name” flashes in the display, and then press the lever.
3 Follow steps 4 to 6 of “Labeling a disc during stop” above.

Note

When the recording is stopped while labeling a track or a disc during recording, or when the playback moves on to the next track while labeling a track during playback, the input at that point is entered automatically.

To cancel labeling, press ■ or T MARK.

Labeling on the remote control

See the illustration in the Japanese text (page 35)

Labeling a disc during stop

1 Insert a disc.
To label a disc that is already in the recorder, press ■ to stop.
2 Press DISPLAY for 2 seconds or longer.
“⊖ : Name” flashes in the display.
3 Press ■.
The disc is ready to be labeled.
4 Press the control towards I◀◀ or towards ▶•▶▶I repeatedly to select a letter and press ■ to enter.
The selected letter stops flashing and the cursor moves to the next input position.
Press II to switch between katakana, the alphabet, symbols/numbers, and phrases (if phrases are stored in the phrase bank).
Press VOL +/– to move the cursor to left or right.
Press the control towards ▶• ▶▶I when inputting alphabet, symbol or numbers to change the letter to the one before/next one. Press towards I◀◀ to go back.
Press DISPLAY to insert a blank space to type in a new letter.
Press DISPLAY for 2 seconds or more to cancel labeling.
Press PLAY MODE to delete a letter and move back all following letters to the left.
5 Repeat step 4 and enter all characters of the label name.
6 Keep pressing ■ for 2 seconds or longer.
The track or disc is labeled.

Labeling a track during playback

1 Insert a disc and play the track you want to label.
2 Press DISPLAY for 2 seconds or longer.
"♫ : Name" flashes in the display.
3 Press ■.
The disc is ready to be labeled.
4 Follow steps 4 to 6 of "Labeling a disc during stop" above.

Labeling a track or a disc during recording

1 Press DISPLAY for 2 seconds or longer during recording.
"♫ : Name" flashes in the display.
2 To label a track, press ■.
To label a disc, press the control towards ⏮ or towards ►•⏭ until " : Name" flashes in the display, then press ■.
3 Follow steps 4 to 6 of "Labeling a disc during stop" above.

To cancel labeling, press DISPLAY for 2 seconds or more.

Note

When the recording is stopped while labeling a track or a disc during recording, or when the playback moves on to the next track while labeling a track during playback, the input at that point is entered automatically.

Relabeling recordings

Follow the steps corresponding to the labeling method until the disc or track is ready to be labeled. Enter a new character over the one you want to change, then press the jog lever (keep pressing ■ for 2 seconds or more on the remote control).

Storing phrases frequently used in labeling (Phrase Bank)

See the illustration in the Japanese text (page 37)

Phrases that you often use in track or disc labeling can be stored in the recorder's memory. Approximately 40 phrases of about 10 characters each (with a total character count of about 600) can be stored in the phrase bank. The actual number will depend on the length of each phrases.

On the recorder

Storing phrases while labeling a track or disc

1 Do the procedure "Labeling recordings" (page 68) to enter a phrase.
2 After entering the phrase, press ❚❚ for 2 seconds or more.
"Entry!" appears in the display and the cursor flashes after the phrase you just stored. You can then continue with labeling operation.

Storing phrases using the EDIT menu

1 Press the jog lever so that "EDIT" flashes in the display, and then press the lever again.
2 Flip the jog lever until "Name Bank" flashes in the display, and then press the jog lever.
3 Enter the phrase you want to store, and then press the jog lever for 2 seconds or more.
"Entry" appears in the display and the phrase is stored.

Retrieving phrases stored in the phrase bank

You can retrieve a phrase stored in the phrase bank anytime you want to use it in a track or disc name.

Searching for a phrase by displaying the stored phrase one by one

1. Do the procedure "Labeling recordings" (page 68) until "⊖:Name" or "♫:Name" flashes in the display. Then press the jog lever.
2. Press ❚❚ repeatedly until the first phrase stored in the phrase bank appears in the display.
3. Flip the jog lever or press ⏮ / ⏭ repeatedly.
   Flipping the jog lever or pressing the buttons causes the phrases stored in the phrase bank to appear one by one in sequential order. If you press ❚❚ at this time, the first phrase stored in the phrase bank retrieved.
4. Press the jog lever while the phrase you want is shown in the display.
   The cursor flashes after the phrase you just retrieved. You can then continue with labeling operation.

Searching for a phrase by its first letter

1. When labeling a track or disc, use VOL +/– to move the cursor to the letter which the desired phrase begins with.
2. Press ❚❚ to search.
   The phrase for that letter appears in the display. If there are two or more phrases that start with that letter, press ❚❚ to see the next phrase.
3. Press the jog lever while the phrase you want is shown in the display.
   The cursor flashes after the phrase you just retrieved. You can then continue with labeling operation.

Erasing phrases

You can erase phrases from the phrase bank while the recorder is stopped. You can also erase phrases when the recorder is empty.

1. Press the jog lever so that "EDIT" appears, and then press the lever again.
2. Flip the jog lever until "BankErase" appears, and then press the lever.
3. Flip the jog lever until the phrase you want to erase appears, and then press the lever.
   "Erase!" appears and the phrase is erased. If no phrase is stored in the phrase bank, "EMPTY" appears in the display.

To cancel the operation, press ■ or T MARK

On the remote control

Storing phrases while labeling

1. Do the procedure "Labeling on the remote control" in "Labeling recordings" (page 69) to enter a phrase.
2. After entering the phrase, press ❚❚ for 2 seconds or more.
   "Entry!" appears in the display and the cursor flashes after the phrase you just stored. You can then continue with labeling operation.

Storing phrases using the EDIT menu

1. Press DISPLAY for 2 seconds or more.
2. Press the control towards ⏮ or towards ►•⏭ repeatedly until "Name Bank" flashes in the display, and then press ■.
3. Enter the phrase you want to store, then press ■ for 2 seconds or more.
   "Entry" appears in the display and the phrase is stored.

Retrieving phrases stored in the phrase bank

Searching for a phrase by displaying the stored phrase one by one

1. Do the procedure "Labeling on the remote control" in "Labeling recordings" (page 69) until "⊖:Name" or "♫:Name" appears in the display.
   Then press ■.
2. Press ❚❚ repeatedly until the first phrase stored in the phrase bank appears in the display.

continued

3 Press the control towards ⏮ or towards ▶•⏭ repeatedly.
Pressing the control towards ⏮ or towards ▶•⏭ causes the phrases stored in the phrase bank to appear one by one. If you press ⏸ at this time, the first phrase stored in the phrase bank retrieved.

4 Press ■ while the phrase you want is shown in the display.
The cursor flashes after the phrase you just retrieved. You can then continue with labeling operation.

Searching by the first letter of a phrase

1 When labeling a track or disc, use VOL +/– to move the cursor to the letter which the desired phrase begins with.

2 Press ⏸ to search.
The phrase for that letter appears in the display. If there are two or more phrases that start with that letter, press ⏸ to see the next phrase.

3 Press ■ while the phrase you want is shown in the display.
The cursor flashes after the phrase you just retrieved. You can then continue with labeling operation.

Erasing phrases

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more.

2 Press the control towards ⏮ or towards ▶•⏭ repeatedly until "BankErase" appears in the display, and then press ■.

3 Press the control towards ⏮ or towards ▶•⏭ repeatedly until the phrase you want to erase appears, and then press ■.
"Erase!" appears in the display and the phrase is erased.
If there is no phrase stored in the phrase bank, "EMPTY" appears in the display.

To cancel the operation, press DISPLAY for 2 seconds or more.

▶Power sources

You can use the recorder on …
– house current.
– a nickel metal hydride rechargeable battery (supplied).
– dry battery (not supplied).

It is preferable to use the recorder on house current when recording for a long time.

Charging a nickel metal hydride rechargeable battery

See the illustrations in the Japanese text (page 40).

Before using the supplied nickel metal hydride rechargeable battery for the first time, you must charge it.

1 Connect the supplied AC power adaptor.

2 Insert the NH-14WM into the recorder and close the lid.

3 Press ■/CHARGE.
"Charging" flashes, ▭ appears in the display, and charging starts.
When charging is completed, battery indication disappears.
A completely discharged battery takes about 3 hours to charge fully.

Using on a nickel metal hydride rechargeable battery

See the illustration in the Japanese text (page 41).

Be sure the rechargeable battery is fully charged.

1 Insert the fully charged nickel metal hydride rechargeable battery with correct polarity.

Using on a dry battery

See the illustration in the Japanese text (page 41).

Use the battery case.

1 Attach the supplied battery case.
2 Insert the dry battery with correct polarity.

Notes
Stop operation before replacing the battery.

Battery life

Batteries	Recording	Playback
NH-14WM nickel metal hydride rechargeable battery	Approx. 6.5 hours	Approx. 12 hours
R6(size AA) Sony alkaline dry battery LR6(SG)	Approx. 4 hours	Approx. 16.5 hours
NH-14WM +LR6(SG)	Approx. 14.5 hours	Approx. 29 hours

When to replace the batteries

When the dry batteries or rechargeable battery are weak, flashing ▭ or "LOW BATT" appears in the display. Replace the dry battery or charge the rechargeable battery.
The battery level indicator is approximate.

Notes on dry batteries
Incorrect battery usage may lead to leakage of battery fluid or bursting batteries. To prevent such accidents, observe the following precautions :
- Insert the + and – poles of the batteries correctly.
- Do not try to recharge the batteries.
- When the recorder is not be used for a long time, be sure to remove the batteries.
- If a battery leak should develop, carefully and thoroughly wipe away battery fluid from the battery compartment before inserting new ones.

►*Additional information*

Messages

If the recorder cannot carry out an operation, error messages may flash in the display window as follows.

BLANK DISC :
: You tried to play an MD with no recording on it.

DISC ERR :
: The recorder cannot read the MD (it is scratched or dirty). Reinsert the MD. If the same message still appears, replace the MD.

DISC FULL :
: There is no more space to record on the MD (less than 12 seconds available).

Data Save:
: The MD player is recording information (sounds) from the memory to the disk. Wait until this process is completed. Do not expose the player to any physical shock, nor disrupt power supply.

TOC Edit :
: The MD player is recording information (track start and end position) from the memory to the disk. Wait until this process is completed. Do not expose the player to physical shock, nor disrupt power supply.

BUSY :
: You tried to operate the recorder while it was accessing the recorded data. Wait until the message goes out (in rare cases, it may take about 2 - 3 minutes).

NAME FULL :
: You tried to enter more than 200 letters to label a single track or disc.
You tried to enter a total of more than 1700 letters for track or disc names during playback or stop.

Hi DC in :
: The power supply is higher than required. Use the recommended power sources.

HOLD :
: You tried to operate the recorder with the HOLD switch slid in the direction of the arrow. Slide back the switch.

LOW BATT :
: The rechargeable battery or dry batteries are weak. Charge the rechargeable battery or replace the dry batteries.

continued

MEM OVER :

You started recording with the recorder receiving continuous vibration. Put the recorder on the stable place and start recording again.

NO COPY :

You tried to make a copy from a disc that is protected by the Serial Copy Management System. You cannot make copies from a digitally connected source which was itself recorded using the digital connection. Use the analog connection instead.

NO DISC :

You tried to play or record with no disc in the recorder.

NO SIGNAL :

The recorder could not detect digital input signals. Make sure that the source is connected firmly. If the message appears while recording, press ■ to end recording.

P/B ONLY :

You tried to record or edit on a premastered MD (P/B stands for playback).

PROTECTED :

You tried to record or edit on an MD with its tab in the record-protect position.

SORRY :

You tired to set DIGITAL MEGA BASS while the "AUDIO OUT" parameter is set to "LINE OUT." Use the jog lever to set the "AUDIO OUT" parameter to "HeadPhone."

You tried to erase a track mark while playing the MD or at the beginning of the first track.

You tried to erase a track mark to combine tracks the recorder cannot combine*.

You tried to press ❚❚ or T MARK while synchro-recording or the joint text function is active.

* If you have recorded or erased many times on the same MD, the data of a single track may be scattered throughout the MD. When the data is scattered in groups of less than 12 seconds long, the recorder will not be able to combine the tracks.

TEMP OVER :

Heat has built up in the recorder. Wait until the recorder cools down.

TR FULL:

You tried to record more than 254 tracks.

TrPROTECT :

You tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over*.

* Track-protected MiniDiscs — Some MD recorders will let you protect individual tracks from being recorded over. This recorder, however, does not offer this feature.

EDITING

You pressed a key on the recorder while editing on the remote control, or vice versa.

LINE OUT

You pressed VOL +/– while the "AUDIO OUT" parameter is set to "LINE OUT." Use the jog lever to set the "AUDIO OUT" parameter to "HeadPhone."

NO TEXT

You tried to use the CD text copying function to copy a track or disc name from a CD that has no text data.

EMPTY

You tried to erase data in the phrase bank but no data have been recorded.

BANK FULL

The phrase bank is almost full and cannot store the phrase you tried to enter. Delete some phrases from the phrase bank, and then reenter the new phrase.

ご案内

ソニーではMZ-R90/R91のお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになって不明な点や技術的な相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048 ― 794 ― 5194
受付時間：月～金　午前9時から午後5時まで
（祝日、年末、年始、弊社休日を除く）
受付期間：お買い上げより1年間

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：**MZ-R90/R91
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **お買い上げ年月日**

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル……………　0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…　03-5448-3311
- Fax ………………………………　0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Japan